京城日報

四日夕刊

定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合名會社 京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

列車時間表 (南行) (北行) [illegible]

◎退位希臘王危篤説

退位せる希臘王コンスタチヌは急病にて危篤に陥れりとの報あり(紐育電報)

◎運送船七隻ピラウス着

デーリー、テレグラフ雅典通信員の所報に曰く、英佛艦隊に護衛せらるゝ七隻の運送船は希臘ピラウス港に入港せりと(倫敦電報)

◎墺軍セルナ河北に敗退

維納來電に據れば、墺太利軍は羅馬尼軍と五日間に亘る激戰の後セルナ河の北方に退却したり(紐育電報)

◎墺國境の對羅防守難

羅軍の進攻は破竹の勢

倫敦タイムス紙所載ブタペスト電報に據れば、同地新聞紙は官選の意を承け墺軍が國境線の長さの半分なるオルソブア、ドルナブアトラの線迄退却すべき事に就き一般民衆に對する豫備的導道を掲げ國境を防守する事の困難と兵數を節約する必要上トランシルバニアを拋棄するの已むなき事情とを陳べたり又瑞西經由の墺匈國電報の示す所に曰く四個地點に於て開始せられし羅軍の攻勢は破竹の勢にて急速の進展を爲し凡ゆる山路に激戰行はれたるが羅軍は殆んど損傷を無視して攻擊を續け攻擊の猛烈と兵力の優勢とは相俟つて墺軍の退却を餘儀なくせしめたり斯くて程なく羅軍はギヨルギヨ連山の北方に於て露軍に合せり(倫敦電報)

◎ソンムの有利なる進出

ソンム戰線は連日天候不良なる爲め作戰に支障を來したるが八月三十一日より天候回復し再び佛軍に有利となれり佛軍はソンム河南方の小戰鬪に於てエストレー、ソエクール間の戰線を進出せしめ得たるが之等の戰鬪は局部的行動に過ぎざりしも作戰上の一般的根柢を確立するに與つて力ありたり(巴里電報)

◎獨軍士氣沮喪の證左

エコー、ド、パリー紙の報ずる所に據れば獨軍はヴエルダン戰線のみに約五十萬の兵を集め然も此方面及びソンム地方に於て我が軍の捕虜となりし負傷せざる獨兵數は四萬三千以上に達す斯かる捕虜數は實に佛軍防備の全然不可抗的なると敵軍の士氣沮喪せるとに由るを示すものなり獨逸より來れる書狀にも獨軍の士氣沮喪の益々甚だしきを認め得るが其の最も顯著なる事實は英軍公報に表はれたるマルチンプツヒ南方に於ける獨兵百二十四名及將校二名の降伏したる事にして之等の捕虜は何れもババリヤ聯隊に屬し最上の精鋭なりしより斯かる例はソンム戰線の獨軍の意氣揚らざる態度を證すると共に多數の捕虜の言も亦之に一致し獨逸軍隊は一兵卒に至る迄現戰爭の前途眞に暗澹たるを自覺せるを明示せるものなり(巴里電報)

◎敵隊驅逐

二日午後發表ヘーグ將軍の報告に曰く一日夜行はれし小戰鬪の結果我が軍は敵が八月三十一日奪還せるデルブイユ西方の一小區域の或る部分よ

◎露軍躍進

露都來電に曰く、コウエルの北三十八哩の戰鬪に於て敵の攻擊は擊退せらるブロチー、オウハリツク等の方面にて露軍は數個の敵陣地を占領したり敵は西方に退却し頑強なる抵抗を試みつゝあり(倫敦電報)

◎判任官行賞期

各官廳判任官の行賞は目下上奏中なるが本月下旬若しくは十月初旬之が發表を爲す筈にて其の數一萬二三千に上る由(東京特電)

◎島根補缺選擧

島根縣代議士補缺選擧は與黨政友會兩派五角の勢にて狂熱的に奔走しつゝあるが與黨側優勢也(東京電報)

◎石川選擧準備

石川縣にては與黨政友兩派とも既に再選擧の策戰準備に着手せり(金澤電報)

◎殿下御通過期

閑院宮殿下は隨員一同と共に十三日夜釜山御上陸十四日午前七時十分發大門驛特別列車にて御著あり同時三十五分同驛發御北行の事となれる由承る

◎李王太王訪問

九月八日は李太王殿下六十四回の御誕生日なるより李王同妃兩殿下は同日午前九時昌德宮御出門德壽宮に太王殿下を御訪問御誕辰の祝辭ありたる後夜宴に列せられ同日午後十一時御歸還の事となれり

◎地査委員會

高等土地調査委員第一部會は四日午前十時より總督府第一會議室に開催、山縣委員長以下各委員出席し土地査定不服申請に關する件に就き協議打合せの上十一時三十分散會したり

◎京畿稻作豫想

京畿道第二回稻作收穫豫想高九月一日現在水稻百八十二萬四千四百六十九石陸稻一萬六千二百零三石にして前年度に對比すれば水稻一割五分五厘陸稻六分七厘の何づれも增收の見込なり

◎露領と苦力

續々浦鹽に向ふ

浦鹽方面に於ける勞働者の需要は尙ほ未だ絶へずと見へ例年ならば九月に入り續々歸國すべき筈の露國出稼支那苦力が未だ歸途に就く者なく芝罘青島等より朝鮮郵船及び阿波共同の便船に搭乘京元線を經て浦鹽に向ふ者一船便百人乃至百五十人を算しつゝあるが狀勢如斯に付本年は彼等の歸國期も遲延し若くは農業以外の勞働者は全然歸國せざる者をも生ずべしと云ふ

◎露國藏劵七千萬圓

朝鮮の遊資消化の機會

第二回露國大藏省證劵發行の件は愈確定したるが其條件は左の通りなり

- 一、發行高　七千萬圓
- 一、期限　一箇年
- 一、利率　年六步割引方法による
- 一、申込期日　來月十五日
- 一、拂込期日　本月廿五日
- 一、申込證據金　額面百圓に付金二圓

右に付特に注意すべきは利率は年六分なれども割引の方法なるが故に九十四圓を以て額面百圓の證劵を買入ることゝなるが故に年六分三厘八毛餘に相當するが故に金融緩慢の折柄一般應募意外に盛況を呈すべく鮮銀も引受銀行團に加入し各支店に於ても一般應募者に對する貸出を取扱ふ由なるが故に朝鮮各地の遊資消化に好機會を與ふべし

◎支那兵我兵に敵對す

＝蒙古軍邀擊別報＝

支那軍公約に背き兇暴を行ふ

公主嶺某所に達したる電報に據れば我が公主嶺駐屯騎兵第二十一聯隊六十名は蒙古軍の退却に際し或る地點迄監視の任務を帶びて二日午後公主嶺を發し新家窩迄進行したる際突然支那軍隊の射擊を被り我が兵之に應じて交戰中我が兵に若干の負傷者を出したり急報は傳騎に依りて三日公主嶺に達し守備隊よりは直に步兵第一大隊の二個中隊に騎兵若干を附して急行せしめたるが其の後の形勢詳かならず(某所著電第一報)(東京特電)

▲第二報 蒙古軍は支那官憲との公約に基き二日滿洲勤王軍と共に郭家店を引き上げ歸蒙の途に就き日本騎兵六十名之を保護して行き遼河を渡らんとしたるに支那軍隊は突然蒙古軍の先頭隊に向つて射擊を開始したれば同行の我が騎兵は支那兵が公約を無視する暴擧を詰問せしも支那兵肯ぜず談判不調の結果支那兵は我が騎兵に對して敵對行爲を開始したり急報公主嶺に達し我が步兵二箇中隊現場に急行せり(某所著電第二報)(東京特電)

◎氏野檢事陞叙

先般病に逆ひて職に殉したる氏野海州地方法院檢事正に對し二日附を以て左の通り辭令ありたり

陞叙高等官二等(四級俸下賜)　朝鮮總督府檢事 從五位勳五等 氏野德太郎
補高等法院檢事

◎木村理事等歸期

東上中の木村鮮銀理事山田庶務局長の兩氏は三四日までに歸任の豫定なりしが用務の都合上多少遲延せしも數日中に歸京すべしと

◎米總領事金剛山行

目下元山葛麻浦に避暑中なる京城駐在米國總領事ミラー氏は來る十一日元山出帆從者と共に金剛山の探勝を試むる由

◎三宅博士入京

慶支部事務囑託理學博士三宅驥一氏は四日朝入京したるが午前十一時支部に出頭したる後同日午後五十分發にて開城に赴きたり

◎川田郵課長歸鄉

朝郵文書課長川田治一氏は嚴父病氣の爲め郷里越後に歸省せしが二十四五日頃歸京すべしと ▲安藤氏朝郵出社 朝郵會計課に入りし前鮮銀副參事安藤堅次氏は四日より正式に出社せり

咸興

▲咸永間線路狀況 咸興永興間に於ける鐵道線路は其の一部が變更に就き元山鐵道建設事務所佐久間技師等の一行測量中のところ此の程に至り一通り豫定の測量を終りたるが更に次回の測量は同鐵道豫定沿線の農作物の收穫終了後に於て著手さるゝ筈にて一方線路用地としては既に永興郡庄上里附近の買收を終れる模樣にて今後順次定州に及ぼし以て豫定の進捗を見るべしと ▲咸興の牛皮移出 一時非常に下落し居たる咸興牛皮は目下六十圓臺に復し夫々內地に移出さるゝに至れるが之は最近又々露國より注文ありたる結果にして今後尙は牛皮は多少昂騰の見込なり昨年當時に在りては相場約七十圓臺に突破し牛皮の出廻り盛況なりしに比し本年は生産高の爲め出廻り極めて少なかりしも最早盆前ともなりたれば牛皮の出廻り相當好況を呈すべしと

西湖津

▲西湖津と漁港設備 西湖津は東朝鮮沿岸に於ける漁撈の中樞地とも言ふべき所なるが漁港設備の完全ならざるを以て漁業家の不便少なからざるものあるより曾ては之れが急設の議起りたりと雖も資金其の他の關係上立消の姿となり居りしが最近に於て漁業者間に有力なる者ありて之が設備完成の計畫をなすものあり其の內容を聞くに西湖津に一の漁港事務所を設置すると共に漁具物販賣市場、製氷所、倉庫等諸般の設備を完全にし從來の不便を補ひ以て附近沿岸漁業の發展に資せんとするものにして此の計畫は來年五月頃迄に實現するの運びに至るべしと

元山

▲學校組合會 過般流會となりたる元山學校組合評議員會は去る二日再度召集し前年度歲入出決算報告並に戶別割賦率に對する異議申立の處分等に就き議するところありたり ▲婦人法話會 元山東本願寺婦人法話會は四日午後一時より幼稚園に於て開催し巡回輪番の說教等ありて來會者多數なりき ▲元山秋季種痘 元山に於ては例年の如く來る二十一日より秋季種痘を施行さるべし ▲中井理學博士 過般來總督府山林課荒井榮氏の案內にて金剛山の探勝中なりし東京理科大學附屬植物園主任理學博士中井猛之進氏は二日朝來元し、翌三日朝鐵路出發歸任したり ▲穀類の廻著 昨今元山驛到著貨物は穀類に依り其の大部分を占められ就中米粟の廻著最も多かりしが最近又々大邱及び平壤地方より麥の廻著著しく增加するに至れり ▲旅客と元山 客月中來往したる旅客の狀況を見るに金剛山探勝者元山海水浴及び支那苦力等の激增に因り海陸共に頗る盛況を示せるもの々如く元山驛乘降人員數の如きも乘車四千六百十三人降車五千五百九十三人にして合計一萬二百六人を計上せり而して海路旅客の出入は元山著三百三十三人元山發一千十一人にして合計一千三百四十四人に達せり

春川

▲春川分監現狀 西大門監獄春川分監現在囚徒は百二十餘名なるが之れ等囚徒の大部分は農作業に從事し居れるが原田分監長以下職員の熱心なる指導により成績頗る良好なりと ▲改正工事竣成 御大典記念事業の一たる春川邑市區改正第一期工事は八月末日を以て無事竣成し目下官屋新增築をなす者多く其他市中一般活氣を呈し向上發展しつゝあるは喜ぶべき現象なりとす ▲製系普及策 春川金融組合長郡參事李東根氏は一般鮮婦人に製系方法を普及せむがため自個建物を利用し內地女教師一名を附し七月十日より向ふ六箇月間習傳を開始したるが其成績頗る良好にして目下十二名の生徒を收容し毎日一人平均二升の繭を製系なしつゝあり ▲判任文官試驗 江原道廳に於ては宮崎第二部長主任となりて九月一日より三日間鮮人判任文官試驗を施行したるが受驗者は二十七名にして第三日は午前八時より筆記試驗合格者の口述試驗を施行す ▲學校長會議 江原道に於ては來る九月四日より管下各小學校長會議を道會議場に於て開催する筈 ▲金融組合理事會議 江原道管下各金融組合理事會議は來る九月十八日より四日間道會議場に於て開催の筈

忠州

▲登山會終了式 公立忠州普通學校の第二學期開始につき八月三十一日を以て終了式を告げ精勤者十名に對し賞品を授與したるが生徒は一般に强健にして一名の罹病者もなく元氣旺盛にて九月一日の始業式に登校せり ▲地主大會 忠州郡地主大會は九月七日擧行の豫定なるが推肥及び扱穗獎勵につき協議を爲し宮本道技師の農事經營に關する講演あるべし ▲大隊長更迭 多年忠州守備隊大隊長として勤務中なりし大海少佐は岐阜聯隊附に轉補され八日忠州出發赴任の筈なるが新任大隊長二宮少佐は六日高崎發九日著任すべし

公州

▲農學校秋蠶成績 公州農林學校に於ては忠南原蠶種製造所産白龍一枚を生徒の秋蠶實習に供し七月二十五日掃立て蟻量一匁一分を得其の後發育良好八月十五日全部上簇し同二十一日收繭したるが其の成績極めて良好にして上繭四斗五升中繭三升下繭二升一合同切七升五合合計五斗七升六合を得たるが蟻量一匁に對し五斗二升三合強に當り又給桑總量は四十五貫八十八匁を要し蟻量一匁に對し四十一貫九十二匁に當れり ▲道廳增築著手 既報道廳長官室會計室其他約四十坪の增築は二日道廳に於て入札を行ひたるが高田多一郎に落札し直に在來の朝鮮式建物の倉庫取毀に著手せり ▲金融組合新設 扶餘郡窺岩里に於て設立準備中なりし扶餘地方金融組合は愈八月二十三日附を以て許可せられ不日資金の下附と共に其の業務を開始し同地方農民の金融緩和を圖る筈なるが組合員は既に同里を中心とし周圍の數面內に於て百九十餘名に達し益增加の傾向なりと ▲苗代品評會 青陽郡に於ては苗床に於て稗拔害蟲驅除等を獎勵する目的を以て短冊形苗代品評會を催したるが出品數千點に達し內百點を撰び更に七十點を優等と認め成績により一二三の三等に分ち八月二十三日道廳より谷第一部長臨席し郡守郡參事立會ひ其の賞狀授與式を行ひたるが郡守の審查報告第一部長の訓話等あり非常の盛況なりし ▲鮮人文官試驗 本道に於ける朝鮮人判任文官試驗受驗者は四十名にして一二の兩日筆記試驗を終り三日に口述試驗を行ふ ▲公州農學校々友會 道立公州農業學校に於ては毎月生徒の研究心を富ましめ兼て內地語練習の爲め一回校友會を開く事になり居れるが本月は恰も暑中休暇中各生徒の各方面に於て調查研究したる事項を報告する事になり居たれば特に指宿校長より小原道長官谷第一部長を始め小松事務官其他道廳の各係主任公州學校長及び本社通信員等を招待し一日午後一時より同校に於て開催されたり

木浦

▲八月當港貿易 輸移出十二萬五百十七圓輸移入十六萬七百六十五圓合計二十八萬一千三百十二圓にして四萬二百十八圓の輸移入超過なり之を前年同期に比すれば輸移出三萬五千九百二十六圓の減退輸移入五萬九千十九圓の增加なり ▲八月水揚高 當地水產商組合の水揚高は合計三千九百卅一圓入船數五百二十四隻入荷數六十個にして前年同月に比し約一千圓の減少なりと右は主として天候不良の爲め出漁日數の減少內地漁船寄港の減少に基因すと ▲鮮銀支店長交迭 敍勳の[illegible]ありし松田支店長は今回大邱支店長に榮轉し後任は上田次席支店長心得に昇任せり

大邱

▲兵營道路敷地收容 過日來大邱兵營道路敷地收容に就き期成同盟會は道廳と地主と交涉中なりしが今回行衞不明鮮人二名其の他內地人二名を除くの外全部交涉濟となれり因に道路敷地面積は兵營道路六千四百八十一坪將校宿舍道路二千二百四十九坪なり ▲兵營道路工事著手 大邱兵營道路は已に潰地提供に就き交涉纏まりたれば愈々來る十五日より工事に著手する豫定なりと ▲農業視察團來邱 兵庫縣農會主催にかゝる地主其他の農業篤志者三十名內外を一團とし鮮內農業視察の途に上り十月四日大邱着種苗場、養蠶講習所其他を視察したき旨兵庫縣農會より慶北道廳に通知ありたり ▲虎疫豫防務部會 慶北警務部にては虎疫侵入に就き大に警戒豫防をなしつゝあるが愈々豫防規則に基き吐瀉患者又は其死者ありたるときは直ちに醫師の診斷を受け官憲に屆出づ可き旨二日附を以て務令を發布し一面コレラの病狀大要なるものを印刷して各郡面職員に配布せり ▲豪雨被害救恤 六月以來の豪雨にて被害を受けし朝鮮各道に對し今回畏くも陛下より御下賜金ありたるが慶尙北道へは九百九十八圓にして慶北道廳は各被害の程度を調査し慶山、[illegible]、[illegible]の三郡を除き管內各府郡島に割當て近附する事とせり ▲服部警務部長巡閱 服部慶北警務部長は七日より十二日迄六日間の豫定にて軍威、義興、河陽地方へ巡閱出張の筈

人事

▲木村林次郎氏(三菱社員) 入京中の處二日夜退京
▲廣瀨善三郎氏(陸軍中尉) 同上
▲大橋與市氏(岐阜縣大橋銀行頭取) 同上
▲小川琢治氏(理學博士) 同上
▲石川良治氏(鑛山業) 同上
▲川村鐵太郎氏(伯爵) 入京中の處四日朝歸京
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 同日
▲フレッチー氏及ベーカー氏(米人鑛業家) 四日午後入京南尾へ
▲鹿原又一氏(水產技師) 三日夜內地より歸任
▲田中卯三氏(內務部事務官) 四日同黃海道內に出張
▲寺尾規矩郎氏(新義州稅關長) 三日午前釜山上陸赴任
▲三宅一氏(楚山憲兵隊長) 同上
▲佐藤常務氏(鎭海要港部大佐) 同上
▲相良貞一氏(七十八聯隊附中佐) 同上
▲大垣丈夫氏(京通社長) 四日朝歸京
▲井出治氏(前東拓理事長) 四日夜九時龍山發內地へ

秋雨蕭條獨坐南窓讀書海因堂老子爵遣小僮斯珍菓曰聊以慰雨中無聊之情爲賦一絕　無佛　陳人

蒲城風雨惘孤單。仙菓聯來盛玉盤。自覺一番風味別。窗前惜道中石。

〔鹿羊謡會席上吟〕

齒や自在十七字詩に秋の聲　虎耳
一幅の畫に盡しぬ高麗の秋　大塊
天地共鳴咏じ俳句の十七字
庵主曰我南山や秋の聲
天地總て楽念佛の聲や賢
國境を眞先に飛ぶ蜻蛉かな　虎耳

◎又しても此の暴狀
我騎兵を襲撃す
咄、支那兵の頑迷は遂に度す可らざる乎

鄭家屯に於ける日支兵の衝突事件は其の曲彼に在る事は始めより火を見る如く明かなるに係らず我政府は折角融和しかけた日支の親善を傷けん事を恐れ可成りに激しい國民の輿論に反しても事を穩便に解決せんと努めつゝある矢先き又復新家甸に於て

◆支那兵が我騎兵隊を全滅に歸せしめたと云ふのは實に怨すべからざる行動と云はなければならぬ鄭家店問題の起る前に支那の官兵は散々に蒙古軍に破られて退却し蒙古軍は勝に乘じ我滿鐵附屬地附近なる郭家店まで攻め寄せて來た其處で我が滿洲駐屯軍は我鐵道附屬地附近で戰鬪をされては居留民に危險を及ぼし一方商業取引其他の事業にも一方ならぬ惡影響を及ぼすから蒙古軍支那軍との間の調停を爲し蒙軍をして蒙古へ引揚げしめる事に成つた此の時蒙軍討伐に來て居た二十七師二十八師の支那兵は優勢の後援部隊の到着と共に勢ひ旺盛なると共に

◆此調停を衷心から悦ばず折りが有らば蒙古軍に打つて掛らうと付狙つて居つた、其處で二日朝蒙古軍が愈々引揚ぐるに際して我軍では支那兵が約束に反し途中で蒙軍を要撃する樣な事が有ては折角休戰調停の効果が無いから蒙古境で無事に引揚げさせる目的を以て第十七師團の騎兵二十一聯隊の公主嶺駐屯中隊をして蒙古兵の引揚げを保護させたのであらうと思ふ電報を綜合して見ると二日午前七時蒙古軍三千餘名は巴布札布引率の下に郭家店陣地を發し我

◆騎兵中隊は亦徒歩にて同日早朝公主嶺を發し郭家店東北にて蒙古軍に合し遼河對岸の陽河城子迄保護する筈にて行軍を續けて居ると案の如く背信食言を平常事と心得て居る支那兵は我軍の調停に關する約束を無視し蒙古軍を襲撃するばかりでなく保護の爲め派遣の我騎兵隊をも襲撃して遂に全滅に歸せしめたのである、保護の爲め派遣されたる騎兵中隊は歩兵と同じやうに騎銃を携へ嚴重な武裝を爲て居るばかりでなく携帶行糧だの彈藥などにも

◆相當の用意は勿論爲し居ると思ふ二日朝出發して三日午前に至るまで行軍を續けたのだから少くとも十里位は行軍はして居つたで有らうと思はれる電文が簡單でよく分らぬが支那兵は新家甸の村落に待ち設けて蒙古兵が此の村落に這入ろうとする處を不意に襲撃した事と思はれる此の際に於ける我保護兵は無論休戰信號と共に其の約束に反いて挑戰する事を詰つたに相違ないが或は國旗を揭げて支那兵の陣地へ交涉に出掛けたで有ろうけれども支那兵の事で有るから其んな事は一向無頓着で無暗に

◆多勢を恃んで撃ち掛つたに相違ない此處に於て我兵も止むを得ず蒙古軍と共に之れに當つて奮戰し遂に衆寡敵せず全滅の不幸を見るに至つたのである要するに支那兵は一個師團位の兵力であるから包圍された日には訓練不充分の蒙古兵と六十騎位の我騎兵では如何する事も能きなかつたで有らうと思ふ此の際に於ける我兵は蒙古兵保護の任務の爲め華々しく戰つて切死した事と思ふ公主嶺からは直ちに應援の歩兵が派遣されたさうだから今回此の應援軍が

◆機敏の活動を爲し國民の批難を受ける樣な事は爲まいと考へて居る鄭家屯及び今回支那兵が取りたる斯くの如き行動は充分に開戰の理由となり得るのである（某將校の談）

◎密輸入大檢擧
浦鹽憲兵隊大活動
露領鮮人部落包圍 酒精千餘罐發見

浦鹽東スウリ灣西岸なるサンコセミに於て密輸鮮人の大檢擧あり同地は鰊漁場として知られ年々淸津方面より朝鮮人の出漁するもの多く現今にては鮮人の一部落を爲すに至れるが同地より程遠からぬ要塞兵士に近來往々酩酊者を發見せるより同地憲兵は其酒精の出所に就て探索したる結果サンコセミ部落鮮人の密賣するものなる事を知り之れを浦鹽憲兵隊に報告せしより去月末憲兵隊は軍隊の援助を借り該部落を包圍檢擧に努めたる結果日本酒精千餘罐を發見し密藏鮮人二十餘名と共に浦鹽に引揚げ取調べたるに該酒精は何れも北鮮地方より帆船にて同地に密輸せるものを十五六留位ゐにて買收し之を露國人に四十留乃至四十五留位ゐにて販賣し巨利を博し居たるなりと云ふ

◎百留の紙幣
振袖で日本の舞踊を見せた

シャンタンの舞臺に出る露西亞の女優には流石に踊りの上手いのがあるんです、或る晩見物に行つてゐるうちに舞臺に出た

▽女で九番こいふ

▽のが顏も綺麗だし踊りも達者なので呼んで見ましたが此方が言葉が解らないので怪訝してゐると自分勝手にお酒を酌いで飲んでさつさと行つて終つたので恐ろしく無作法の藝人だと思ひましたが兎に角呼び戾して いろ〳〵と話の末日本へ行かないかと勸めてみると行くには條件として每晩舞臺が濟んだらお客を周旋してくれるなら異存は無いと來たのには呆れましたが妾の座としては然ういふ事は絕對に出來ないので藝なり顏なりに申し分は無かつたのですが止しました、あちらの藝人の萬事に露骨な事はこんな風で

▽まだ驚いたのは

▽踊つてゐる最中に纏頭のつもりでせう、お金を燐寸箱に入れてボン〳〵と舞臺に投げるそれを踊り終つた當人が掻き集めて衣裳へ入れるんです、始め燐寸箱を何故投げるんだらうと不思議に思つて居りましたが妾の傍にゐました、お爺さんが一人の女の踊りに大層感心して觀て居りましたがその內に財布から百留の紙幣を疊んで入るといきなり燐寸の箱を舞臺に投げたんです、すると踊りながらそれを器用に拾つてお金丈拔いて

▽空箱を投げ返し

▽て來たので始めて讀めたのでした、日本では餘程下等な藝人でもこんな事はあるまいと思ふんです、此のシャンタンに這入ると傷兵部の寄附金だとか何んとか言つて慈善會の切符を賣附けられたり、種々なお金を取られますがそれでも、日本と露西亞とは協約が出來て仲が善くなつたから、寄附しろと言れて見ると惡い氣もせず出したもんですそれより嬉しかつたのは聯合軍各國のダンスがあり各國の旗を持つて出てダンスをやつた中に日本の國旗が見られたのは嬉しう御坐いましたがその

▽日本の踊りこい

▽ふのが西洋人の着る寢衣に赤い腰卷を纒うて細帶をだらしなく締め俯むき加減に兩手を胸と腰のあたりへ當てがつてそれを神經的にブル〳〵と顫はせながらヨチ〳〵と踊るのでまことに氣恥かしく思ひましたから、日本の踊りはそんなものでは無いといふ事を見せるために妾の座で日本の振袖を著て踊つて見せました、一行は幸ひに非常に好評を戴いて大入續きでした

◎湖南線
線路崩壞

三日夜來の豪雨にて四日午前七時地境胖山間裡里起點十二哩四十鎖附近切取土砂約三十坪崩壞し一時線路不通となりしも直ちに復舊午前九時開通せり右の爲め第六二列車及第一六一列車の同區間の運轉を取消したり

◎自動車轉覆
春川街道を疾走中
高橋特務曹長等重傷を負ふ

三日午前九時過ぎ京城を發したる廣橋自動車組合の京春間運轉の自動車十七號（運轉手李來還）が助手一名及び春川守備隊附の歩兵特務曹長高橋幾喜氏外內地人一名朝鮮人二名の客を乘せ折柄の雨を衝いて京春街道を疾走中同午後一時五十分頃京城を距る約十一里加平郡西面大成里五里津街道溜石橋附近に於て高さ十一尺餘の路上より墜落し高橋特務曹長外一名は車體の下敷となりて重傷を負ひ助手金某外二名の乘客は輕傷を負ひたるが負傷者は墜落自動車より先著淸平川に達したる自動車によつて當分遣所より石村自動車停留所に收容し加平憲兵分遣所よりは公醫を急行せしめ治療中なるが墜落の原因に就いては目下調査中なるも淸平川より約十丁手前の道路を過般來より修繕中なる上に雨天の事とて泥濘となり居りしため先きに發したる松田自動車部の自動車に追ひ付かんとして急速力を出したる爲なるべしと

◎水泳を禁止
釜山署の命令

去る三十日高麗丸乘客にて虎列拉患者發生したるに付釜山港內には何日同患者の黴菌散布し居らんにも限らず故に釜山署にては三日より同港內外に於ける水泳は一切禁止せると共に又帆船漁船の船夫に於ては食器の洗濯米其他食料品を洗ふ事を禁止其他食事一般に對する注意をなせり

◎豪雨
京城一石四斗

仁川觀測所の觀測に依れば數日來の氣壓の配布は北支那方面に低氣壓發生せんとする兆を呈したりしが俄然三日朝黃河下流域に現はれたる低氣壓は中心示度七百五十耗以下にして漸次發展して東方に進行し四日朝は城津沖に進出したるも其の爲め三日は朝鮮全部殊に中部以北地方豪雨を催したり就中京城尤も多量にして四日午前六時迄の一坪雨量七十九耗（二石四斗二升二合）を算し仁川同四十六耗（八斗三升）を降らせり之れに次ぐは平壤三十六耗元山三十二耗雄基二十九耗龍岩浦、中江鎭、江陵、城津等何れも二十耗內外を觀れりと雖該低氣壓の一部支那南部に殘留し東進しつゝあれば今明日は未だ天候恢復は覺束なかるべく本低氣壓通過後氣溫俄然遞落することはなかるべし（仁川）

◎新町遊廓の一人情死
男へ面當てか

四日午前二時半京城新町十一番地貸座敷東家事在田某方第七號の部屋にて同樓の抱娼妓京子事淸水京（二五）が外用洗滌藥過滿俄を服用して自殺を企てたる騷ぎあり、京子は東京府豊多摩郡內藤新宿北裏町生れ淸水淸三の三女にして昨年十二月二日年期を向ふ四年間とし

▲前借金五百圓を以て同樓に抱へられたるが生來美貌なるより相當の流行妓なりしが昨年來岡山縣妹尾町生れ當時京城本町某旅館止宿中の骨董商橋本六太郎といふ馴染客が出來橋本は一月中骨董品購入の爲め支那へ渡り各地を營業し廻りて八月十六日入京し同夜京子の許に登樓したるを初回として九月三日夜迄に前後六回の契りを重ねたるが豫てより落籍の上夫婦として同棲すべき樣深く言ひ交はしあり其の假契約とて橋本より京子に金指環一個を與へありしが最近に至り僅かの事より面白からぬ仲となり橋本は一應與へたる

▲金指環を取返したる上落籍の相談も破約したる形跡あり三日夜は深更迄雜談したる上午前二時頃に及ぶも京子は就寢せざるより橋本は同室に先に寢ね眠りに落ちんとしたる頃枕元にて京子が苦悶し初めたる物音に眼醒まし見れば京子はコップにて何物をか服用し居れるより大に驚き仲居を起し右の由を告げて大騷ぎとなり取敢へず新町病院の杉原醫師を迎へて應急手當を加へ飲用物全部を嘔吐せしめて取調べの結果洗濯藥と判明せしが一時は頗る危篤に瀕したるも多分生命には異狀なかるべしと急報に依り新町派出所の巡査駈付けて兩人の關係其他の取調べをなし本町警察署より保員出張檢視し京子は白地の浴衣に細帶を締め

▲黑髮を打亂して俯伏となり居りしを一先づ樓主に引渡して目下加療中なるが京子が自殺を企つるに至りたる原因とも見るべきは前記の夫婦契約を破綻せられたるを悲觀して橋本に面當ての爲め此の無分別に及びたるものならんといふ

◎暴行事件落着
暴行兵放逐さる
旅長來りて陳謝し

去る二十六日午後五時頃長春城內一二三樓にて一支那兵が暴行し取鎭めの巡査に抵抗したる事件に就ては日本總領事館より山本警察部竹波警部補城內に赴き折衝し支那旅團長は不在なりし爲め傅參謀長に會見を求め嚴重に交涉を試みし所參謀長は頗る慚愧に耐へざるもの〻如き面持にて部下の不法行爲を憎み暴行の兵は吉林より應援の爲め當地に來りし者にて土地不案內なる處より前記の暴行に出でしものなるべし同人は嚴重に處罰し其所屬旅長をして親しく貴官憲へ陳謝せしめ今後決して斯かる失態を演せしめざる樣本官保證すべければ平に容赦せられたしと述べたるを以て警部一行は一應山內領事の許可を得て歸署したるが支那官憲にては約束の通り當日朝所屬歩兵第二團第三營々長歩兵少佐張徵然氏を我長春領事館に遣はし懇々と陳謝せしめたれば本件は無事落著を告ぐるに至れり（長春）

◎官文書を偽造して
全家族の改名

忠北永同郡永同面稽山里居住の李商雩（三五）は豫てより父母初め家族等の姓名が好ましからざるより改名せんと思ひ居れる內大正四年三月中巡査補として同道永同警察署山幕巡査駐在所に勤務し當時民籍事務を警察の手より面事務所に引渡すに當り其の事務の補助を命せられゐたるを奇貨とし規定の用紙に父學奉を永夏、母才只を丙和、長兄夢骨を範達、次兄毛根を範昌、妻玉置を炳順、長兄妻順欒を順鋼と何れも改名して官文書の僞造を遂げたる上之れが民籍簿を面事務所に引渡したること此程に至り發覺し公州地方法院に於て懲役一年の判決となりたるより不服とし京城覆審法院に控訴したるが前判決を取消し懲役六箇月の處分となれり

◎神仙臺
新檢疫所設計
萬一の際 連絡船旅客全部の停留に備ふ

釜山港にては極力虎疫防止に力めつゝあるが今回更に總監部より大規模に防疫をなすこととなり既報の巡査合宿所及び驛前に目下新設中のバラック式二十疊敷四間の建物は風浪烈しき時は神仙臺行を中止し同所にて臨時停留をなさしむる事に決し同神仙臺の敷地內に十七間に三十五間の二階建四百五十人以上を收容し得べき大建築物を建設する由にて三日總督府土木局屬貝沼彌造氏技手石川伊三郞氏神仙臺檢疫所に出張し實地設計を行ひたるが當日直に敷地工事に著手せりこは一は今後益々內地に虎疫流行する際指定地の增加に備へ一は萬一連絡船にて患者發生せんか乘客全部の停留收容を見る事なきにしもあらずとて新設する者なりと同檢疫所の燈火につき研究中なるが現今迄の蓄電にては供給不可能なるを以て死電の逆電か又は發電の裝置ある檢疫所の汽鑵に設計を加ふるか又目下總監部に於ても講究中なりと

◎讀者文藝
（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▼川柳「自轉車」

◎自轉車の數で問屋を乘せ廻し　一等　京城本町　西脇一笑

▲自轉車の初は見て飽み取り　市內　城田山翠

▲自轉車の反り身は急な用でなし　京城　大島愁流

▲自轉車で預つた娘攫れ飛り　龍山　南魚子

▲自轉車で乘り廻してる火の車　龍山　山家吞公

◎下宿料を踏倒す

名古屋市東區大曾根町生林千虎（三七）は朝鮮各地を流れ廻りたる末六月二十日京城に來り食料一箇月十二圓の約束にて旭町一丁目の下宿屋中村某方に滯在し六月分は支拂ひたるも翌七月分は一文も不拂の上貸蒲團料其他合計二十二圓計りとなりたるより宿主に請求せられば自分が出願中の石鑛山に關する書類あるを以て之を擔保として金策するに依り暫時猶豫し吳れと欺き八月五日御成町西村某より金五圓を借用したるも更に入金せず之を旅費として忠北槐山郡淸川面地方に立越して排徊中を取押へられて本町署に引致されたり

◎鐵路の夜市

京城樂園洞車夫朴九植（二七）は七月二十八日夜鍾路の夜市にて露店營業中の鶴田五平次と些々たる事より爭論をなし鶴田の右足外數箇所を毆打し治療十五日を要する創傷を負はせ京城地方法院にて笞六十の處分となる

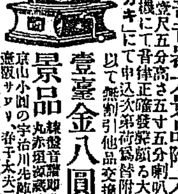
◎鐵棒で毆る 平南龍岡郡……の水を注けたるが原因にて……合ひの喧嘩となり檢見隊は持つ……

◎二棟燒失す 平南安州郡……

◎課題及懸賞募集規程

天氣 曇り但少雨

かつけ 胃腸 心臟病 特効藥
價金五十錢 ◎本舖大阪市安堂寺橋通二丁目佐藤ライト商會 ◎近時類似品の此物有御買求の節は必ず ……
全國各藥店に販賣せり 店名御指命を乞ふ

◎大聲蓄音器大景品附大割引責任販賣◎

本機は機函の直徑壹尺五分高さ五寸五分喇叭口徑壹尺四寸の七枚瓣ニツケル構造キング式原動機にて音律正確發聲頗る大也今回五百臺限り左記大景品進呈す望の方は「ハガキ」にて申込次第荷爲替附にて送る萬一不向の節は責任を以て無料引他品交換又は返金す
壹臺金八圓五拾錢 運賃及荷造箱代共金壹圓五拾錢
景品 綠盤音譜即ち「レコード」特製品 ……
▲普通綠盤特製品說印券百回使用保險附兩面金六拾五錢（定價表無代進呈）
◎近頃玩具的蓄音機を誇大に廣告し注文者へ迷惑を與ふる不德商店有注意あれ
大阪市東區上本町五丁目停留所南入 電話南一二三八 振替大阪二五〇八二
發賣元 大阪蓄音器商會

鴨綠江材 青竹各種 セメント 日本木材
無煙煉炭 日本石炭 撫順石炭 コークス
合資會社 中村組平壤支店 電話五〇一番

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品

糖化力最強にして効力常に一定す
發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衛 大阪平野町二 岸田市兵衛 東京本町四 田邊元三郎

齒科診療
仁川山手町穴門通 東京齒科醫學士 飯塚喜四郎 電話三五〇番

「內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」
大學目藥

大阪北濱壹丁目 參天堂藥房
定價金十錢廿錢（郵稅二錢）三十錢（郵稅四錢）大瓶五十錢（郵稅八錢）◎各市藥店に在り
●大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基きし貴重の製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其外眼病一切に甚だ効能あり●十歳以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

平壤名產 子持栗と人參玄武飴
平壤へ行かれたら忘れずに
秋鹿商店 電話五四四番

新學期に入る 女學校

△京城高等女學校成田先生談

◇九月の新學期に入つて生徒が皆元氣よく登校するのは非常に愉快なことである

◇暑中休暇中の生徒の日課は女學校丈けに餘り多くを與へて居らぬ、從つて生徒の手になる成績品の如きも彼等の自由に委せてある

◇近來他所では何れも相當な日課を與へて休暇中と雖も課業を勉强せしむるやうなれど本校は生徒が將來家事にいそしまねばならぬ女生徒だけに專ら家事の手傳を勵むやうに申してある

◇されば休暇中の日課としては二三草花の寫生とか植物採集などを勵むだ組もあるやうだが總て生徒自身の自發的勉强に委せてあります

◇近來内地邊に於ても自由作業といふことが唱へられて女學校に於ても木工、手藝等種々な課目を設けこれを生徒自身の嗜好により自發的に勉强せしむるといふ傾向があるが或は好いことかも知れません

露西亞の民謡(5)

—ア、クロイツ氏稿の中より— 昇曙夢氏 山崎斌氏 共譯

△慈母のヴオルガを

一

ソロ 船は慈母のヴオルガを下る

コーラス ヴオルガを、海原なすその水の面を

二

ソロ 疾風は起りぬ

コーラス 疾風—水面はや波たつ

三

ソロ おゝ波たつあらし

コーラス あらし、なにも見ず波のうち

四

ソロ たゞ小舟ひとつ

コーラス 漂ふあたりにはたゞ波

五

ソロ あゝ帆のみ白し

コーラス しろし、舵手の頭に帽子黑く見ゆ

六

ソロ おゝ船には主人

コーラス あるじ、雅をこらせる

七

ソロ 肉桂色の上衣を著て

コーラス 手には紅のハンケチを持てり

註 ヴオルガはロシアに於て常に「慈母の」名を冠せられて稱せらる、わが富士山に對する感銘に似たるものなり

清津の松茸

△昨今が一番の出盛期▽

△咸鏡北道の清津港附近では昨今松茸の出盛期となつた、清津附近から清會線に沿うた松山では毎年八月下旬から十月上旬まで盛んに澤山の松茸が出る、然も昨今九月中旬頃が最も多い時期である

△咸北の松茸はこれまで餘り世間に識られて居なかつたが昨今では非常な評判となり京城邊にも送られるのが尠くない

△由來松茸は赤松の繁つた山に出るのであるが右の清會線地方は最も赤松山に富むである

△場所は先づ清津から清會線鐵道に沿うて富寧驛から古豊山あたりが最も多く外に富居附近の松山からも盛んに出る

△昨今走り物の相場は百匁一圓六七十錢臺を呼むで居るが出盛期ともなれば百匁二十五錢乃至二十錢位ゐである

基督教協同傳道

京城基督教各派聯合の協同傳道は愈々來る八日より十一日迄京城内の各教會順番に行ふこととなり講演者たる可き江原素六、露無文治、宮崎小八郎、釘宮辰生、笹尾粂太郎の諸氏も兩三日中に前後して入京する筈なり其傳道日程左の如し

▲説教會 △九月七、八兩日(木、金)午後八時、龍山日本基督教會(龍山漢江通)「題未定」牧師露無文治「感謝の生涯」同宮崎小八郎△同月八日(木)午後八時、京城基督教會(京城米倉町)「信教の力」牧師露無文治△同月同日(木)午後八時京城日本基督教會「基督教とは何ぞや」東北學院教授笹尾粂太郎△同月同日同時京城メソヂスト教會(京城旭町二丁目)、説教場尚洞監理教會(南大門通三丁目)「題未定」牧師釘宮辰生

▲演説會 △九月九日(土)午後八時會場壽座(本町三丁目)「基督教の使命」牧師宮崎小八郎、「國民の將來と基督教」東北學院教授笹尾粂太郎、「題未定」江原素六△九月十日(日)午後八時會場壽座(本町三丁目)「題未定」牧師釘宮辰生、「宗教心の開發」同露無文治「題未定」江原素六

▲禮拜説教 △九月十日(日)午前十時、京城日本基督教會(京城長谷川町)「神に到るの道」東北學院教授笹尾粂太郎△同日同時京城基督教會(京城南米倉町)「基督の證者」牧師露無文治△同日午前八時京城メソヂスト教會(京城旭町二丁目)、説教場尚洞監理教會(南大門通三丁目)「題未定」江原素六△同日午前十時、龍山日本基督教會(龍山漢江通)「題未定」牧師釘宮辰生

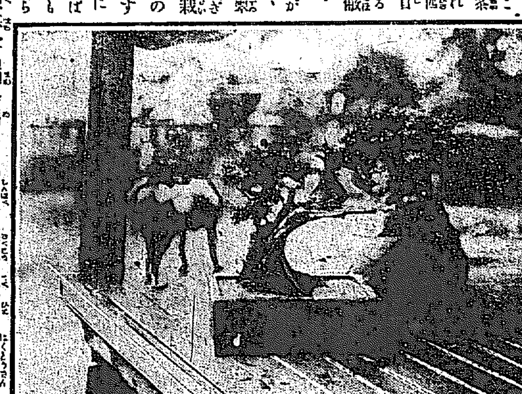
▲聯合婦人會 △九月十一日(月)午前十時、會場京城日本基督教會(京城長谷川町)「徹底せる教會」東北學院教授笹尾粂太郎、「題未定」江原素六

▲内鮮基督教信徒親睦會 △九月九日(土)午後二時會場ファミリーホテル(京城南大門通セヴランス病院内)

南山の松翠を打仰ぎながら

「蟲の音も好いが人の聲も惡くはない」

◇警務總監部の大石囑託の家は旭町一丁目の白水の裏にある、初めて訪れた人は白水の玄關に乘り込む積りで出掛けなければ白水探り當てられ相にもない◇やつとのことで門を潜ると今度はまた獰猛な探偵犬や獵犬にワン〳〵包圍されて了ふ◇漸くにしてまして座敷に通るとこんどはまた手にした茶菓子を犬からパクられて了ふ◇座敷は四五匹の犬が泥足のまゝで自由に横行闊歩して居る◇折から庭を蔽ふ綠樹の葉蔭に、ザア〳〵と初秋の雨が降りそゝぐと見れば、鬱蒼たる南山の松翠に白い雨脚が斜に過ぎる◇僕の家の盆栽よりも南山の松の方が遙に好いです◇と主人は嬉しさうに盆栽を仰ぐ◇と見れば散歩の庭にはお手のものゝ盆栽が五六鉢ならび、それが何れも四角な鉢をすれ廻して居る◇あの眞柏は、昨秋四國の人が白頭山から持ち歸つたのを買ひました、時候が時候だつたので少し危かしいと思つたが、鉢に移して見ると立派に根を下しました、思ふに眞柏は何時でもつくやうです◇またお隣のは鷄林でお求めが持つて來た白檀です◇なに、蟲の音が好いと仰しやるか、此所は白水と料亭町に挾まれた場所だけ人の聲も惡くありません



神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 四日午後八時より月曜講演あり

○開教院(本町三) 過般來内地旅行中の吉村開教理事歸京、四日午後一時より府内鐘路水洞教會にて鮮人布教あり

○曹洞宗別院(若草町) 五日午後八時より達摩會あり

○臨濟宗妙心寺(長沙洞) 來る五日より九日まで毎日午後七時より除涼會員の夜坐接心有

婦人界消息

△國分けい子(司法部長官令嬢) 豫て池田病院に入院中のところ二日全快退院されました

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電(前日との比較)

二日出來値段 東洋拓殖 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮鐵道 南滿鐵道 [illegible]

公債直取引特電(前日との比較)

四日出來値段 五分利 甲號 五分利特別 四分 五分 [illegible] 八二、八〇〇 / 八一、九〇〇

深川在米特電

四日現在高 朝鮮米 内地米 [illegible] 三一、五六二 六四、九四六 一、六〇五、四八四

大阪株式特電

四日前場 [illegible]

大阪三品特電

四日前場 [illegible]

大阪期米特電

四日前場 [illegible]

下關期米特電

四日前場 當限 中限 先限 寄付 高値 安値 止め [illegible]

雜報

[illegible]

洋鐵類は漸騰 内地

市場の洋鐵近狀によれば昨今地方筋の注文は數量の割合に種類多く各品共に好影響を蒙り市場は活潑を帶び來れり最近米國よりの入電によれば米本國も聯合國より軍需品の注文込み船腹も漸次緩和の模樣なる折柄[illegible]

牛皮昂騰す

[illegible]

買氣頗る旺盛

一圓内外を罹上

[illegible]

麥類の昨今

[illegible]

裸麥

裸麥は過般來賣行き頗る好調を呈し六圓六十錢乃至六十五錢臺に賣買行はれつゝあるが荷動きの良好に連れ昨今幾分入荷も增加し初めたれば[illegible]

大麥相場の小弛

大麥は賣行き今一段にて市場には可成り在荷の停滯せるものあり爲めに氣配も不味の傾きなり

釜山穀物賣買高

▲釜山穀物市場八月中賣買玄米高及び概報左の如し

品目	數量	最高	最低
中白米	一九三個	一、三六〇	一、二四〇
玄米	三六七四二個	一、三四五	一、一六〇
右の内日本種		一、三七〇	一、一七〇
精白米	二	一、六〇〇	
粉米白	四二	七三〇	
同玄	五八	六九〇	六八〇
大麥	三五	四八〇	
小麥	三一六	八五〇	七〇〇
小豆	一九三	一、二〇〇	一、〇七五
大豆	一三四九	[illegible]	[illegible]
右の内新小麥		[illegible]	[illegible]
同大豆		[illegible]	[illegible]

合計三萬八千九百三十個なるが前月出來高四萬五千二百六十二個に比すれば六千三百三十二個の減少は月初より廻着の少なきと内地よりは概して[illegible]

釜山市場 三日

▲小麥入津同斷 [illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は保合 依然買氣乏しく賣行き至極鈍なるも[illegible]

覺束ない後荷

宗谷昆布好況

[illegible]

八月中の生魚

市場八月中の生魚賣揚高は八千六百十四貫目此代金一萬千二百六十五圓[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

市場零聞

前場小變動

地方風水害

被害を見越し高人氣

存外落付模樣を呈し

大阪の跡安を受けて

[illegible]

仁川期米

四日後場

大阪天候晴天

二節六十二錢の移り

大阪四節六十一錢六節

五十九錢とヂリ安

八節五十錢丁度

尙安移

[illegible]

(日) 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 支配人 土居勝 電話二八二番 二八三番

鎭南浦有力筋の途轉買

海道方面の暴風雨

被害の甚大

人氣は頗ぶる過敏

能く賣る

能く買ふ

今節見ゐる

(下)の大商内

尙小相場乎

風雨一時的強硬

人氣を示す

三十錢の格上

代用新米

目先在米饒

[illegible]

仁川米豆取引所 四日の十一月限

前場 寄付 高値 安値 止め [illegible]

平均値段 [illegible]

賣買取組高 [illegible]

北濱だより

日本製布株

[illegible]

前場の手振

依然賣募

依然保合

[illegible]

(利) 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

吉川製油所 コールタール アニリンオイル アニリン ベンゾール ナフタリン液 クレゾール 石炭酸 鈴印クレオソート油 ボイルド油 カストル油 バクトリユウム 牛脂・ヘッツ テレメン油 テール油 諸機械油 其他

月さらえ丸 一日一九は 月經不順を…調ね 月經不通を…通じ 月經困難を…治す 實に能く効く 月やく滯りたる人直ぐ試み給へ 本舖 大阪平野町 小林大藥房 小林盛大堂

特約店募集 今回各地に特約店を設置す。希望の方は返信郵券參錢封入申込みあれ詳細回答す。 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會家庭藥部

期米 今 延商店 大阪堂島米穀取引所仲買人 致富之栞進呈

酒煙草になる きらひ 禁酒丸…禁煙液 禁酒禁煙論進呈 大阪市 森田商店

蠶繭 屑物 賣買業 京城府龍山漢江通八番地 河原壽夫繭絲店

小資本にて金儲け現る 東京淺草八幡町 大澤商會

尺八樂譜解説 尺八樂譜 東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂薰

成功致富の近道は何か

まづ株式相場をなすに限る 株の賣買は決して危險にあらず

『富强世界』社長 高柳淳之助

▲今の富豪は皆株にて金を儲く [illegible]

▲相場で失敗者多きは何ぞや [illegible]

▲株とは如何なるものか [illegible]

▲株式相場の研究 [illegible]

▲株は何人でも何地でも出來る [illegible]

▲空論にわらず實際的なり [illegible]

▲余の投資的相場観 [illegible]

▲一刻も躊躇すべからず [illegible]

▲株式賣買の安全 [illegible]

▲未亡人株の賣買を始む [illegible]

▲株を持つ利益此の如し [illegible]

▲株の賣買の利益此の如し [illegible]

▲株の相場をなすとは如何 [illegible]

▲株の相場下らば如何するか [illegible]

東京 [illegible] 富强世界 [illegible]

宮本武藏

第百四十九回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

此の日向守勝成の次男出雲守成重の子が十郎左衛門成元、芝居ですると幡隨院長兵衛と喧嘩をして湯殿で槍で突殺すなど、いふ亂暴極まる人間にして了つたが本當は何うでない、幡隨院長兵衛などいふ人物が第一怪しい、いふ生立の人間だか古い本には少とも見へないから分らないが怪しいものでございます、芝居では旗本さいふと大底惡い奴になつて居る、之れは戯作者が町人だから階級制度の劇しい世の中で常に武士といふものに反感を持つて居た爲め狂言の筋に於して憤を晴らしたものと見ゑます、併し白柄組神祇組といふものも後には弊害もあつたものと見ゑて寛文四年三月二十六日水野十郎左衛門は松平阿波守へ預けとなり翌二十七日切腹を命ぜられ神祇組の旗本一同或は流罪或は改易小普請入など其れ〳〵罪の輕重を定められましたが之は水野が强ち惡かつた許りではない、時の大老酒井雅樂頭忠淸人呼んで下馬將軍といふ、此雅樂頭が水野を憎んで切腹さしたと傳へられて居ります其頃同じ旗本に三浦小二郎吉也といふものがあつて、之れが吉也組といふ黨派を組んで神祇組と對抗して居た、此吉也と水野と黨の爭ひから騷動を起したともいふ、之れは餘事に渉りますから略して其神祇組一名白柄組が出來たての時分でありますから宮本も之等の人々と親しくして水野日向守とも逢ひましたが日向守は正名のやうな活潑な男が大好きで、八十二歳になるが元氣のお爺さん仲々話が面白いから武藏も近しく訪れます、或日の事宮本が水野の屋敷へ往くと一人の僧が來て勝成と話をして居る、武藏が座敷へ來て挨拶をすると勝成が『勝』アヽ宮本氏能い所へお出なすつた、和尚此方は貴僧も御存じであらうが寛永十年豊前小倉の海上灘島で九州の鬼神佐々木岸柳を討取つて武名を海内に顯かした小笠原藩の、宮本武藏正名殿、當時は細川家に在らしつやる方だ』『ハヽア、倩ては高名の宮本先生………』『勝』宮本氏、此の和尚はな、品川東海寺々中妙解院といふ寺の住職庵原郎全老といふ、今は恁んな梅干爺いだが三十年ばかり昔しは槍を持つて、戰場を驅撥り廻つた仲々の豪傑拙者の古朋友でござる『武』アヽ左樣で、手前宮本武藏、何分御懇意に『郎』恐入りました、私は庵原郎全御高名は承知いたして居ります何卒御懇意に』と同樣の挨拶了つた『勝』さて宮本氏此庵原和尚なぞはな今こそ頭を圓めて有難そうな顏付をして居るがな前名は庵原助右衛門といつて元今川の浪人中度神君に御奉公いたし、後に井伊掃部頭直孝の家來となつて大阪の戰ひに出陣し、河内岩江表に於て大阪の若大將木村長門守を討取つて勇名を天下に揚げた、其後熊谷直實の昔を慕ひ、敦盛にも具すべき重成の菩提を弔ふため、坊主になつて諸國を歩行いて、遂々澤庵和尚の弟子になつて東海寺へ入り込んで了つた、まア爾ういふ豪傑で、お經の方は急仕込みで什麼も有難くないが武術の方では仲々話らん人物でござる『郎』什麼も日向守殿は相變らず口が惡くて不可ぬ、お經は有難くないなぞと……『勝』アヽ、まア爾んなものだ、貴公の引導では佛の浮ぶ氣遣はない、まア其の餘まり性質は善くない人間だが『郎』好い加減にさつしやい『勝』アヽ、怒るな、宮本氏もお暇があつたら妙解院の方へもお出懸け下さるやう什麼せ碌な茶菓子も出すまいけれども『郎』モウ乃公は踊るよ、何んだか惡く言はれに來たやうなものだ』と果は大笑ひになつたが之が緣で武藏其後妙解院へ訪ねて參りました、庵原郎全和尚喜こびまして出迎へ、書院へ案内して叮重に待遇し、種々禪學の話をする、武藏といふ人は大層禪學の出來る人で若いけれども徹底して居りますから話が面白い、其れから武道の話が出ると之亦兩人話が合ふ、郎全和尚が喜こんで『郎』天下名代の宮本先生、お年は若いが天晴な御人傑感服の至り、恐悅も恁んな喜ばしい事はない、コレ茶を持つて來て呉れ』といふと『ハイ』と答へて一人の少年茶を持つて立出でました

遊漁具 投網

四分目長二ヶ浦 絹糸九百匁付極上麻糸製七圓五十錢 綿糸代用アヤ糸製六圓五十錢 カタン糸製六圓 其他目の大小網の長短等種々有之候

投網 釣道具 漁網製造 其他釣道具一式販賣

京城永樂町二丁目 御小賣 吉備商會 監獄署製品販賣所 地方特約店募集

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科

院長 安部修三

京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

九月六日 九星 舊八月九日 丙午 本命六白 乾 開 佛滅

▲六白● 心忙敷問道を生ぜんさす 落付て新事見合 ● 神佛の事は吉 晴劍乾 ▲七赤● 學漁の日 轉居 入學 金作 家作 名弘 嫁娶 取 遣洋 出漁 等皆吉 ▲八白● 閑靜なる日 轉居 入學 求職 名弘 建築 採 鑛 同志 結合 等皆吉 ▲九紫● 無趣味の事有日 新事 損失 散財を防ぐべし ▲一白● 富 [illegible] 轉居 開業 入學 求職 金作 出漁 縁 水利 業等萬吉 ▲二黒● 福力增進の日 轉居 開業 入學 ▲ 竹採 鑛 求職 婚禮 等 皆吉 物に勝日 ▲三碧● 紛 なを生じ易き日 新事 手控 萬事は吉 衛生に注意 ▲四緑● 小感な意味する日 新事 手控 萬事は吉 一切 せわ事を禁ず ▲五黄● 爽快の日 轉居 旅行 入學 職 習 結 婚 禮 貿易 業等萬吉

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動株式會社特約代理店 八月三十一日より提供の大寫眞 ▲實寫 [illegible] チー週報第二十七號 ○喜劇 [illegible] ▲悲劇 [illegible] ▲新派大悲劇『二筋小袖』全三卷 ▲探偵活劇『怪事件』全三卷 ▲伊太利 [illegible] ○喜劇 [illegible] ○日活 [illegible] 尾上松之助一派出演 大山 [illegible] 節 全三卷

黄金館 連日連夜眞の大入滿員を續けつゝある ▲午後七時二十分より 大冒險大活劇『第八名金』 ▲午後八時四十分より 天下一品奈良丸式活動寫眞 發士劇 神崎與五郎 吉田奈良勝口演 ▲午後九時四十分より 新派連鎖劇『海の怪』は 九月六日限り

御成座 御成町 電話二一九一 革新派中村榮一行 第八十回替藝題 一番目 義理の世の中 全九場 二番目 親の慈悲 全二場 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 九月五日六日兩日間 △聯合義太夫大會 初御目見得 竹本組太夫出演 [illegible] ◎入場料は無料です

黄金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下) 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 [illegible] 八月三十一日より提供特別大興行 ○大冒險大活劇第八『名金』第十五 [illegible] ○義士劇神崎與五郎 [illegible] ○新派連鎖劇海の怪 全四卷 [illegible]

わきが 治療好期 全快實驗 [illegible]

東京市電氣局新發明

空中映寫

八月十三日より十月五日まで毎夜大阪中の島公園……大川の水上高く

幕を用ずして空中に種々なる映畫現はる

水上高く人工にて霧を起し電氣仕掛にて其の霧に繪や文字を映寫する最も新らしき試み也

クラブ齒磨本店主催

學術上の好參考さして將又た廣告の一大進歩として非常なる喝采を博しつゝあり

右の器械全部なクラブ齒磨本店に於て讓受け昨年御大典の際東京市電氣局所屬堀内より數寄屋橋の空中に向つて之を映寫し破天荒の新發明として群衆の大喝采を博したるが今回第二回目として大阪中の島公園埋立地の一部を借受け八月十三日以來毎夜之を映寫して一般公衆の觀覽に供し非常なる盛況を呈しつゝあり

懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺ぐ可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尚なる香料を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て雅客紳士其他交際場裡に必携劑也
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙碎用て大に豫防す
清心丹は人魚の商標高木與兵衛名債へ御注意之上御求を乞ふ
清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(鑵入)廿錢十錢五錢(紙包)の七種あり
清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大阪町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

醫化學諸器械一式 藥種賣藥卸商

Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七七番

京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

汽車 [illegible]

京城日報

五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金七拾五錢 [illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯局三四五番　營業部 [illegible]　振替貯金口座番號京城三〇〇番

京城日報　羅國蹶起の價値

伊太利及び羅馬尼の蹶起は、英佛外交の、大なる成効なる事は、明なる次第なるが、特に羅國の蹶起が、歐洲戰局に、大々的の關係あるは、何人も否定せざる、事實なるべし。抑も羅國の蹶起は、巴爾幹に於ける戰況の進展と共に、自衛的のみの爲に、蹶起せしに非ざるやの觀ありて其裏面には羅國が、多年の宿望を、實現せんとするにあるもの、如し。即ち今回羅國が、宣戰布告と共に、墺匈國に提示したる、參戰の表面上の理由とする處は、（一）墺匈國に在る羅馬尼人が、戰爭と侵入の危險に曝されて不安なること（二）羅馬尼の參戰蹶起が、世界戰爭の繼續を短縮せしめ得可しと信ぜること、（三）羅馬尼は自國の國家的理想を、實現すべきに最も有効なる援助を、與へ得可き國に、加擔するに在りとの三點にあり。然るに、其三箇條内に於て、前二箇條は、所謂參戰の口術にのみ過ぎずして、其の最も主眼とする處は、乃ち第三項の、國家的理想にある事は、疑を容れざる也。羅馬尼の國家的理想とは何か、是れ汎羅馬尼主義に外ならざる也。汎羅馬尼主義の、目的とする處は、墺匈國のブゴウイナ、トランシルヴニア兩州及び、露國のベッサラヴア等を併合し、散在せる三百五十萬の羅馬尼人を統一して、人口千百萬の、一大帝國の建設にあり。聯合軍側に於ても亦、羅國に對し、參戰蹶起の條件として、密に之が承認援助を約したりと推すべき理由あり、露軍の如きは、既に占領せる、ブゴウイナ州の首府、ツエルノウイツチ市長に、羅馬尼人を任命したるが如き、密に羅馬尼の甘心を買ひつゝあるの、事實さへあれば、羅馬尼が、最近獨墺と、新に通商條約を締結し、好意的、局外中立の態度を、取りたるに不拘、突如宣戰を布告せしは、大に其の見る處ありしに由るべく、實に獨墺側にありて、天の霹靂たりしは、方に然るべし。されば露軍の進出よりも、西部戰線の勝報よりも、此の一飛報は、獨帝の爲には、大なる精神的打撃にして外相ヤゴーを馘首し、次官チンメルマンを辭職せしめたるは當然なるも、遂には本事件に對して、餘り關係なき、參謀總長フアルケンハイン將軍を革職し、ヒンデンブルグ將軍を以て、其後任たらしめたるは、聊か突飛の感なくんば非ずとせず、之れ畢竟するに、羅馬尼の參戰が獨帝をして、無職失望せしめたるに由るべく、又一方より之を見れば、獨軍窮迫の徴證なりとするを得べし。然ども今直に、羅國の參戰を以て戰爭の終局を、速ならしむるものなりと斷定するは、尚早なり。何となれば獨逸は、對羅宣戰に亞ぐに、墺土の對羅宣戰を以てし、一氣に羅馬尼を、擊破蹂躙せんとするの決心を示し、獨墺軍は、西南國境附近の、ツエルシオロソ及び、セツエリン等に對し、猛烈なる砲擊を開始し、東方戰線及び、近東方面に、死力を傾倒せんとする計畫あるは歷然たり。されば羅墺方面に於ける、今後の一戰こそ、既に天下分目の戰と稱す可く、其勝敗の如何に由りて、希臘の去就も勿論決せらるべく、巴爾幹一帶の形勢をも、決するに至るべし。茲一箇月間の戰勢の推移は、全戰局に對して、最も重大なる意義ありと云ふべし。要するに此の一戰にして、若し獨墺軍にして勝たんか、羅馬尼蹶起の價値は、容易に認められ難きと共に、戰局は依然澁滯すべく、聯合軍にして捷たんか、墺國の運命窮迫すると同時に、巴爾幹の天地は一變して、勃土二國は孤立消滅に歸し、墺匈國も遂に、起つ能はざるに至り、從つて獨逸の運命をも、閉塞するに至るべければ、玆に始めて、羅馬尼蹶起の價値の、極めて大なるを證する事となるべし。

浦鹽斯德の貿易及び金融（三）

浦鹽松田銀行部調査

此間に處して專ら日本人取引を主とする松田銀行部は一時對外爲替作用を中止するの已むを得ざるの狀態に陷りたることありしも直に回復して日本よりの輸入品に對する決濟並に在留

▲日本人の金融に貢獻したるは言を俟たざる所にして殊に本年三月以來凡ての手段を盡して貿易爲替の平均を求め極力日本貿易の助長に盡したるの實況は從來年額約六百萬圓の爲替賣買額ありたるに對し三月より六月に至る四箇月に於て已に三百八十萬圓を取扱ひたるが故に約九割の増加を見たるに由て其大體を知るべし然れども別表示すが如く日本の貿易額は非常の程度を以て増進し從て代金決濟の機關として浦鹽斯德の金融機關力其衝に當る程度も亦極めて増加したるに當り露國側銀行が外國爲替を取扱ふ自由を有せざるに至りたるが故に同部に於て其全部を負擔するに至らば到底爲替の平均を得ること能はざるが故に將來に對する問題としては專ら此點の研究を完うして以て此膨脹せる日露貿易の趨勢を助長するに勉むるに在りて之れ同部の尤も重要なる任務と云ふべし今や倫敦紐育等世界の市場に連絡を採りて極力爲替取引の圓滑を計るに汲々たる所以なり而して最近に於ける

▲浦鹽斯德の狀態を見るに露貨下落に基く輸入業者損害物價騰貴と公債募集に基く購買力の減少并に關稅引上及び一部輸入品禁止等の諸原因は凡て商況を不振ならしめ殊に歐露に直送すべき貨物の如き需要は益々急を告ぐるに拘らず軍需品輸送の爲に貨車拂底して遂に小包郵便物すら依賴高の三分の一すら輸送すること能はざるの狀況に陷り埠頭堆貨二十萬噸を算するに至るの有樣にして從つて金融の圓滑を缺ぎ爲替受拂の澁滯を生じ大口輸入品にして苦情を生ぜざるもの極めて稀なり聞く所に依れば西比利亞商業銀行の如き昨年來輸入品に對する關稅並に運賃の立替約二百萬留に及び其回收に腐心するの有樣なりと云ふを以て大勢を知るべし若し夫れ輸出貿易に至ては尤も閑散の時期に當り殊に大豆高値を唱へて手合なく特に記すべきの事なきを以て之を略す要するに將來戰亂の繼續するに從つて國債は益々增加すべく金融は益々逼迫すべく日露貿易の前途頗る戒心すべきあると同時に爲替關係の偏重愈々甚だしかるべく金融の衝に當るもの、尤も苦心を要する所なりとす終りに當港と

▲朝鮮この貿易に就て特に著しく且つ喜ぶべき現象は皮革製品の朝鮮輸出額昨年二百萬圓に上りたると鮮米の販路擴大したるに在り就中後者に在りては烏蘇里全線に於ける需要の增加は著しき程度に達し昨年中僅に八十二萬五千圓の朝鮮米出を見たりしもの本年に於ては四月迄に於て已に二十四萬二千圓に及び將來益々其勢を增加するの狀況に在り蓋し勞働者補充の必要より生じたる朝鮮人の增加と歐露に於ける白米の需要の增加は其原因を爲すものと云ふべし

放浪漫記

大谷光瑞

八月三日シンガポールに於て

（承前）ボンベイは南西信風雨を伴ふて以て温度下降漸く八十二三度に過ぎず頗涼秋に入るの感あり、ボンベイには小生の殘留せる行李多數あるを以て之を整理し更にカルカッタに向ひ申し候。ボンベイより便船なきに非ず然れども多くは劣等なる船舶にして加ふるにアラビヤ海上信風猛威を振ふを以て、小生の如き船暈を感ずるものは渡航すべからず故に止を得ずカルカッタに向ひ申候。カルカッタに數日滯在の後七月十六日夜錫蘭丸に乘船致し候。この船は昨年三月東歸の節乘船せしものにして荷物船ながら船室食堂稍々備れり、現今ボンベイ、カルカッタ兩航路中最良の船舶に御座候。昨年末までは兩航路に稍々優等の船舶を用ひたれども、八坂丸沈沒と喜望峰航路の關係より優良の船舶は悉く歐洲航路に轉じ、現今にては本船の外一二隻を除けば他は殆んど乘船すべからず、甚しきは舵機の不完全なる老船を用ひカルカッタに至る河中にて坐洲せしが如き事あり、客室の如きは素より望むべからず海運業の活況は旅客の爲甚だ悲しむべき影響を與ふる者に御座候。特にカルカッタよりは近時邦人の來往頗る多く、皆困難を訴へ、ボンベイは二週間一回のピーオー汽船の上海に至る定期航海あるを以て上海にて轉乘の煩を顧みざれば可なりと雖も、カルカッタよりは不定期船の本州若くは支那に至るものなきに非ずと雖も我郵船に乘ずるの安穩にして快きに如かず、然るに現在の狀況に於ては殆んど船室を得るの困難は船腹を得るの困難に數倍し、旅客の困難は荷物輸送より甚し、特に昨年に比し本年に入り我商物の印度に入るや數倍に激增し、本邦官民の印度視察に上るもの又數倍せり、往航は多く歐洲航路に依り錫蘭に上陸し汽車に依り印度内地に入るの便あれ共、復航は歐洲航路はナタル、ダーバンよりシンガポールに直行するを以て之を利用する能はず爲に困難を極ざるべからず、特に出帆期日の如きも素より荷物船なれば決して定期客船の如く正確ならず、故に現時に於ては印度渡航は困難を免れ難し、今後印度に渡航せんと欲する人は必ず歸朝の日時を豫め定め、出發の乘船と共に歸航船室を郵船會社に豫約するに非ざれば不測の滯在と困難を免れざる可し、大戰終結し船舶過剩の期に入らざれば到底現狀を繼せざるを以て困難は繼續すべしと信ず、特は錫蘭丸等一二隻の外は船室殆ど三名を容るに過ぎず、小生乘船の時は錫蘭丸船室は滿員にして、本邦人三名は船室を得ず甲板上に寢臥せざるを得ざるの不幸あり、特に會社は一般旅客を許すを以て動もすれば、外人の爲に船室を先づ與へられ、不用意の本邦人は甲板等の避難を免かれざるが如し、七月廿一日早朝ラングーン著港降雨の爲不快云ふべからず、加ふるに廿二日黃昏に於て荷物搭載を終るに拘はらず、稅關の許可を得んとすれば時間外なるを以て得べからず、不得止停船し翌廿三日は日曜なるを以て終日得べからず、廿四日に至るも午前は何故にや之を得ず漸く午後四時に至り之を得七時の高潮により出發致候。今日船舶缺乏の期に當り四十八時間無用の停船は會社も非常の損害ならんと存候（未完）

蜻蛉（五の日十の日會詠）

○　虎耳
孤つ石に分るゝ水を飛ぶ蜻蛉
○　浮碧樓
織りゆく縞目蜻蛉ながるゝ
○　芳草樓
蜻蛉秣ふくらむ程の陽さし
○　鳥堂
舟上りたる爽さの蜻蛉
○　拔柳
飼子等手拭白ろの蜻蛉
○　句平
雜木伐られ空廣う蜻蛉

日報詩壇

○松陰讀書　笹島紫峰
移榻松林下。白雲隨送迎。不妨風霰擾。碎此讀書聲。
評曰　輕妙

○曝書　齋藤三寅
矮屋三間不入風。滿天炎熱奈吾窮。典書換酒嗟無物。笑掃床頭空蠹蟲。
評曰　工夫亦妙

○寄海印寺僧　成田魯石
身在疑經萬卷中。心無罣礙劫塵空。三千世界人欽仰。山自巍巍道自崇。
評曰　秀逸不陳

第二版

◎四日發
下關期米特電
仁川米豆取引所
▲四日後場 [illegible]
▲續て不勢 [illegible]
▲言能く賣る [illegible]
▲取組增大 [illegible]
▲仮場の手 [illegible]

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正五年九月一日（定價貳拾五錢 郵稅貳錢五厘）

口繪　西域濟州和卓寬集女體佛塑像／西域吐魯番寬集羅漢像及神像壁畫／全羅南道の孟宗竹林／濟生院養育部農場並盲啞部狀況

□酒稅令の要旨……度支部長官　荒井賢太郎
□全羅北道農業所見……總督府技師　中村彥
◎臨益水利組合事業概要◎水害狀況◎大正四年度濟生院概況◎東京に於ける朝鮮米◎朝鮮對大阪貿易◎七月中の朝鮮貿易◎滿洲に於ける朝鮮銀行小額仕拂手形◎各道主要農產物及工藝品◎稻作狀況◎醬油製造人員造石數及價格◎朝鮮北部に於けるニセアカシヤの生育狀況◎國費經營造林事業概況◎粟の播種と被土◎朝鮮在籍船舶數
■朝鮮施政の眞義……中樞院書記官長　小松綠
七月中の鐵道運輸◎經學院講士地方巡回講演◎學校林の經營◎內地學校視察報告◎不動產登記制度◎不動產登記令の施行◎並地方法院出張所の設置◎警察賞與◎森林と雨量との關係◎孟宗竹林に關する調査◎平壤聯合基督教大學校長アール、オーレーナー氏新任式演說◎支那地方官々制◎聖僧フランソワ、グザヴヰエー◎地方通信◎雜報◎質疑應答◎叙任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例
□印度視察談……總督府技師　阪出鳴海
□臺灣の私設鐵道及軌道……鐵道局參事　鷲尾弘準
▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
▲販賣店　東京神田淡松堂　朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

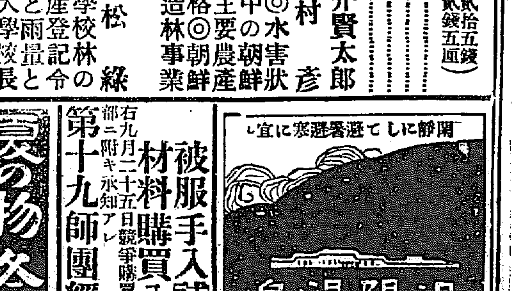
タイコー萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

謹告
時下殘暑之候各位益々御清祥之段奉大賀候陳者弊分工場開設以來永々格別之御引立を忝し居候處今般左記場所に染料藥品製造大工場新築落成致候に就而者當地分工場儀來る九月十日を以て全部引揚げ新工場と合併仕候上從來業務繼承致事と決定仕候に付不相變御愛顧御引廻之程奉懇願候
大阪市東區瓦町一丁目一番地　合資會社　福喜洋行本店　電話長本局五四〇番　本局七四〇番
京城府岡崎町五番地　合資會社　福喜洋行朝鮮分工場　電話長一二五二番
新設大工場所在地　大阪市外豐崎町字南濱

電氣扇　電氣ストーブ
夏の物　冬の物

本店 東京市京橋區 [illegible]　出張所 [illegible]　横濱市吉田町 [illegible]
サンデン電氣商會

被服手入補修材料購買入札
右九月二十五日競爭購買ス詳細ハ當部ニ附キ承知アレ
第十九師團經理部

閑靜にして避暑避寒に宜し

溫陽溫泉

◎我軍の死傷尠し

蒙古軍邀撃別報＝支那軍我が國旗を撃つ＝蒙古軍損害多大

三日午前十時公主嶺西北六里の新家口に二千餘の支那兵は退却の途に就ける蒙古軍を突然攻撃せるより之れを護衛せる淺田騎兵中隊長は我が國旗を掲げて停戰せしめんとせるも支那兵之に應せず數個の彈丸は我が國旗に中り騎兵二名馬匹一頭死傷し蒙古軍は多大の損害を被りたり公主嶺よりは三日來應援隊を送り四日中に歩兵二個中隊及び騎兵砲兵を送る筈なり右の支那兵は吉林軍にして張督軍の蒙古軍を追撃せざる命令が充分徹底せざりし爲めならんと（奉天特電）

（別報）新家口に於ける我軍の死傷者數は未だ判明せざるも全滅には至らず而して蒙軍は頗る優勢にして支那兵は目下退却中なり（奉天特電）

◎又も我軍に發砲す

公約を無視せる支那兵の兇暴

鄭家屯を撤退せる蒙軍は二日其の前衛を以て新家口に宿泊したるが其の東方約半里なる張楊拔に在る支那官兵は三日午前九時頃三三の蒙軍に對し射撃せり支那兵の兵力約六百名にして兩軍の行動監視中なりし我が騎兵第二十一聯隊の騎兵若干は豫て休戰の約に違反するを以て先づ蒙古軍に對し射撃中止を申し込み蒙軍は直ちに之に應じたれば次で支那兵に對しても同樣申込みたるも承認せざるより將校以下三三の交渉員之に赴かんとせしに支那兵は之に向つて發砲し益々攻撃を加へ遂に其の一彈は我が國旗に命中せり（四日陸軍省著電）

◎我が嚴達を無視す

關東都督府は曩に鐵道附屬地に治安を維持する爲め一日午後蒙支兩軍に對し左の如く嚴達せりと

日本官憲は附屬地の治安を維持する爲め蒙支兩軍共楊家城子及び鄭家屯に連る線以東の地域に於て互に戰鬪的行動を爲す事を認容する能はず若し此の要求に副はざる行爲ある時は日本官憲は自由行動を執る可し之を監視する爲めに日本官憲は騎兵の一部隊を派遣す而して該部隊の危險を豫防する爲め日本國旗を掲揚す

此の嚴達に對して兩軍共確實に承認せり然るに無謀にも支那官兵は都督の嚴達に背き張楊拔に於て蒙軍と戰鬪を開始せるのみならず我が交渉委員に對しても射撃を加へたるにて鄭家屯事件を惹起して未だ幾何の時日も經過せざるに今又斯くの如き事件の突發を見たるは兩國の國交上遺憾に堪へざる所なりと某當局者は語れり（東京特電）

◎我海軍の行動を激賞す

倫敦タイムス紙の日本號發行

倫敦タイムス紙附錄第四日本號發行され記事中には日本海軍省が特に同附錄の爲め寄稿したる現戰爭に於ける日本海軍の行動の概略を掲載せり

タイムス紙は同記事に關聯して其の論説に大要左の如く論じたり 吾人は日本海軍の忠實にして有力なる協同作戰に負ふ所多く又フオン、スピー將軍の獨逸艦隊をフオークランド等に於て擊滅せるに當り我が英艦隊と密接なる協同作戰を執れる日本海軍に負ふ所決して少なからず該記事中に表はれたる日本海軍の行爲は實戰の榮譽を擔ふ能はざりしも常に戰略上に有力なる地位を占めて以つて英國旗の海軍力の割合に比して非常に多數の軍艦を遠の儘に配置して歐洲協同海軍と共に忠實に協同行爲遂行に使用せり日本は其に最も不幸なる事件の起るなからしめたり日本は其の大戰に加はり就き種々忖度する者あれども日本の大戰參加は實に重要なる同盟上の義務の遵奉に在り日本は此の義務の要求する所を遺憾なく施して滿足し又斯く爲す事に於て聯合國全部殊に英本國並に其の屬領の滿腔の感謝を買ひ得たるなり（倫敦電報）

◎倉庫業と元山

由來北鮮地方の特産物として全鮮に販路を有する[illegible]業家の滿足を得る能はず從つて完全なる[illegible]ありたる[illegible]而も一方明太漁期の追々切迫しつゝある今日預り[illegible]半ばに過ぐるものあるべし（元山）

◎[illegible]に五入掛り

[illegible]

◎酌婦賊を働く

[illegible]

◎暴風雨警報（九月四日午後四時發）

[illegible]低氣壓[illegible]

◎英國遠征軍の連捷

獨軍重砲を地下に埋めて退却

東部亞弗利加に遠征中なるスマッツ將軍の發せる八月三十日附公報に曰く

亞弗利加に於ける獨逸主權の名殘は其の俤も將に消ゆ絕えなんとす スマッツ將軍麾下の英軍に對抗せし獨軍は目下總退却を行ひ居れりウルグフ山の東西に在る他の部隊（敵の總司令部と地方行政廳も此の隊に合し居れりと信ぜらる）も山地に遁げ込めり我が軍の追擊猛烈を極むにより獨軍は其の重砲を地下に埋め又は之を破壞し去れるもの、如く海軍砲一門の如きは爆發藥を以て破壞せられあるを發見したり曩に地方行政廳の所在地なりしムロゴロはダレスサラームの西方百二十哩に在り我が軍が今日迄に占領せる都市中最も重要なるものに屬し輪奐の美を極めし公私の大建築物少なからず敵は此の地點に多數の負傷病者と婦人小供を遺き去れり（倫敦電報）

◎獨飛行船破壞さる

倫敦來電に曰く獨逸ツエッペリン飛行船隊は三日午前零時頃倫敦の東郊に來襲せるが中一隻は破壞せられたり（紐育電報）

◎鐵道勞働法案可決

米國上院は四十三票對二十八票を以て鐵道從業員八時間勞働法案を可決せり（華盛頓電報）

◎同盟罷業解止取消

華盛頓來電に曰く鐵道從業員問題に關するアダムソン案は下院を通過し鐵道同盟罷業解止命令は取り消されたり（紐育電報）

◎訴訟提起

▼鐵道從業者勞働法案は▼憲法違反なりとして

議會は二日鐵道從業者の勞働時間を一日八時間と定める法律案を可決し之に依つて勞働者側の要求貫徹せられたる次第なるを以て各首領等は曩に發したる同盟罷業命令の取消を通知せり但し鐵道會社側は右法律を憲法違反なりとし直ちに訴訟を提起すべしと云ふ（紐育電報）

□東宮日光行啓

皇太子殿下には天皇皇后兩陛下に御對面の爲め六日午前七時十分上野驛御發車日光に行啓御一泊遊ばされ翌七日午後還啓の旨四日仰出されたり（東京特電）

◎大晩餐會

本野駐露大使上院議員招待

本野大使は二日夜上院議員團一行の爲め大晩餐會を開き日露協會員全部上下兩院議長も亦之に列席せり（露都電報）

◎閑院宮晩餐會

遣露使節閑院宮載仁親王殿下には五日麹町區永田町の御自邸に於て晩餐會を催ふされ露國大使及び日露協[illegible]

◎原總裁の遊說

原政友會總裁は北信八州會大會臨場の序を以て金澤市に遊說の筈にて横山代議士等同志會は之が對戰準備をなしつゝあり（東京電報）

◎秋山中將通過

新任朝鮮駐剳軍司令官秋山中將は赴任の途四日朝桃山御陵に參拜し同十一時三十分大阪驛通過朝鮮に向へり（大阪特電）

◎位記傳達式

伯爵李址鎔氏嗣子李海忠及び子爵任善準氏嗣子任洛鎬兩氏に對し四日午前十時半總督室に於て山縣政務總監より其々左記位記の傳達あり同時に政務總監は貴族子弟として心得べき事項を懇々訓示する處ありたり

敍從五位 李海忠
敍從五位 任洛鎬

◎移民勸誘困難

東拓移民勸誘の爲め內地に出張中なりし村上補民課長の談に曰く概して內地各縣を通じ農村の疲弊は著しき事實なるが其の原因は諸稅交際費其他の負擔重きに因る事も多けれど根本原因は一戶當り耕地反別の不足なるに基づくものゝ如し縣當局並に地方有志も此の救濟は移民に依る外に途なく結局一戶當り耕地反別を埔圳する外なく其の移民地は朝鮮を最も恰當とする事には所見一致し居れるも何分第一種東拓移民たるには移住費其他に三四百圓を要し移住を希望する普通農民は其の現金の調達に困難を感ずるとて金策出來得る者は多少の基礎を鄕村に有するを以て其の一家を動かす事を忌むもの、如し募集移民の應募數振はざる所以は蓋し茲に發するものと見るを得べく將來と雖も其の多數を朝鮮に招致する事は極めて困難なるべし而して漁村の衰微は尙ほ農村以上にあり其の救濟策は海外移住の獎勵にありとし最近農商務省にては各縣に補給金の交付をなしたる位なるが其の移住地は之れを主として南洋方面に求めんとするもの、如けれど朝鮮にて半農半漁移民を歡迎する事とならば來住は少からざるべし現に東拓は全南於爾島に三十戶以上の半農半漁移民を收容するに恰當の土地あり其の狀況を今回廣島縣廳に說明せし所縣當局にては進んで半農半漁移民の勸誘斡旋をなすべき事を諾せり唯內地漁民多數を朝鮮に移住せしむる事となれば自然切實に朝鮮漁民の窮を招く事となるに付此點は土地の選定其他に付大に考慮を要する如し

◎長崎航路缺航

朝鮮郵船會社の經營に係る浦鹽長崎航路就航船忠淸丸は五日浦鹽を發し元山釜山を經て長崎に再航するの順なるも虎疫の爲め今回も亦缺航とし門司に廻航せしむる由なるが長崎方面の荷主には其の旨通報しあるに付き後たる不便はなかるべきも唯上海より長崎を經て朝鮮に入る貨物は相當時日の遲延を見るべし尙ほ朝郵航路としての成績より見れば長崎より門司を發着港とする方有利なりと

◎鑛業界殷賑

八月中の鑛業出願件數は合計三百四十件にして之れを前月に比すれば多少の減差を見たるも然かも鑛業令發布以前に較ぶれば尙ほ數倍に達し依然として鑛業界の殷賑を示せり但し其の鑛種は金を第一とし砂金、銀銅等之れに次ぎ鐵及び黑鉛も亦鮮からざるも重石鑛の出願は漸次減退の傾向あり

◎慶北牛疫續發

本月十七日鍾城郡鍾關面周山洞に牛疫一頭初發以來同郡南山面二峰洞雲峰洞、豊山面雲岩洞、鍾關面鍾關洞等各地に發生せし牛疫は今や鍾關洞を中心として各地に蔓延し猖獗を極むる事從前例を見ざる程なるが此が防疫に就ては道廳より技術員三名を派遣し警務官憲と協力して極力防疫に苦心せるも時機既に遲れ病毒は濃厚に撒蔓したる爲如何ともなし難く廿七日迄即ち初發以來十日間に二十二頭の牛疫發生し當局は極力血淸注射に努めつゝある一方嚴重なる防疫法を斷行中なるも今後尙ほ續發の形勢ありと（清津）

◎簡易保險と渡鮮者

內地の簡易生命保險は來る十月一日より實施する事に定められ居るが若し內地に於て簡易保險を契約し後渡鮮せし場合は如何と云ふに會計を異にせる事丼に契約手數料及び朝鮮は集金郵便區域を限局せる等の關係上朝鮮郵便局所は渡鮮簡易保險契約者の拂込みを便宜取扱ふを得ず當人は若くば一々契約郵便局に送金するか契約地に適當の代理人を指定するかの手數を執るの外なかるべく又假りに在鮮者にして內地に赴き簡易保險を契約し來るも朝鮮郵便局所に其の拂込みをなす能はざるに付此邊注意を要すべしと

◎泰川水利豪利好況

東拓にて平北泰川水利事業豪利狀況を聞くに今夏の灌漑面積は三百町步の豫定なりしも用水潤澤にて通水良好なりし爲め最近の調査に依れば植附豫定面積の二倍乃ち六百町步を超へ新田多きと日射強かりし爲め意外の出來榮にて反收四石以上を收納し得る豫想の水田少なからずと云ふ

◎井出主計監出發

駐剳軍經理部長井出治氏は官民多數の見送りを受け家族同伴にて四日午後八時龍山驛發列車にて東上せり

◎扶殖農園近況

朝鮮唯一の救濟機關として知られたる慶北延城郡東村にある財團法人朝鮮扶殖農園は大阪汎愛扶殖會に於て教育せる青年と事情を同うせる內地及び朝鮮の青年をも收容し着々成績を舉げつゝあるが今回二萬三千有餘圓の基金を募集し全く獨立の經營をなさんと企圖し曩に李王殿下及び寺內總督より下附金あり又今回の獨立經營に贊する有力者の援助ありて順調に進みつゝありと

人事消息

▲石原久吉氏（三菱社員）入京中の處四日夜退京
▲廣田直三郎氏（釜山中學校長）同上
▲金李王世子附武官 四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ミス、デビス氏（米國宣教師）同上

南言北語

今度獨逸の參謀總長になつた貧田振恩將軍は却々戰爭は上手で一時露軍をリガ迄押し付けた處は頗る見事な手際であつた▲且つ其の冒險な作戰は奈翁より外にやつた事がない處から奈翁の再來だと迄激賞せられた▲將軍の攻むるに最も妙を得て守るに不得手な處は鳥渡義經に似て居る▲將軍も今から腰越で泣かぬ樣に心掛けて居ないと飛んだ事になるかも知れぬ▲兒の獨朝ではなくてお王樣の獨帝と來たら鳥渡でも逆鱗に觸れたものは待て暫しもなく馘首されるからなあ▲而も今度將軍が馘首される時は最う獨逸も終りだから大した事はない管サ▲貧田振恩と云へば將軍の鄕里マクデブルヒ市ではズックで將軍の像を建てた相な▲而して參拜者は必ず大きな釘を打ち込んで行く▲其の譯は永久保存の爲釘で鐵の肖像とする趣向ださうだ▲釘付けなんかは餘り有難くもなかり相な織義でもない釘でも打つてやれ▲鄭家屯事件が漸く談判にかゝつたかと思ふと又た日本兵を射撃した▲イヤハヤ斯ふなつては愈々支那兵には手が付けられぬ▲而も遼河を渡れば直に蒙軍を討ち取れとは北京官場からの命令だつたと云ふから今度は奉天督軍も本官の責任に非らずエッヘンで濟す事も出來ようが▲濟まされぬ處が此處等にあるから困る▲早く何とからちを明けねばなるまいソガーハーイ謂り云つて居ては何にもならぬ

◎我が要求條件提出

鄭家屯事件と支那側の提議

林公使は二日午前九時外交部に陳氏より外交總長を訪問じて鄭家屯事件に關する我が要求條件を提出せしが支那側にては同問題調査の爲めに派遣せし王鴻年未だ歸京復命せざれば第二回の會見期日は其の復命を待ちて支那側にて決定せんと提議し結局其の意に任して引き取れり（北京特電）

◎支那政府の方針

圓滿に解決せしむる事に決す

支那政府は鄭家屯事件に關する我が要求を受け取ると同時に十一時より會議を開き本件は王鴻年の調査報告の來るを待ちたる上迅速に取り運び內容の漏れざる間圓滿に解決する（日本の要求を容るゝ意志ならん）方針を執る事に決したり外交部秘書は本件に就き午後五時段總理を訪へり（北京特電）

舶來 和製 電氣モーター類
新品及中古品在庫豊富
◎御照會次第詳細御報申上候
大阪市西區北境川町一四四の五十 吉國常吉方
電氣機械商 品川護助 電話西二三三番

三五版法制經濟縮刷書

書名	著者	冊數
民法總論	法學士 鳩山一郎	全二冊 前既後未
民法總論	法學士 嘉山幹一	全二冊 既
物權法論	法學博士 横田秀雄	全二冊 前既後未
債權法總論	法學博士 横田秀雄	全二冊 未
親族法要論	法學士 牧野菊之助	全一冊 既
相續法要論	法學士 柳川勝二	全一冊 既
民事訴訟法論	法學博士 板倉松太郎	全七冊 第一既 二至七未
強制執行法總論	法學士 前田直之助	全一冊 未
特別民事訴訟論	法學博士 松岡義正	全二冊 前既後未
人事訴訟手續法論	法學士 柳川勝二	全一冊 未
裁判所構成法論	法學士 立石謙輔	全一冊 未
商法總論	法學博士 志田甲太郎	全一冊 既
商法總論	法學士 青山衆司	全一冊 既
保險法論	法學博士 粟津清亮	全一冊 既
手形法論	法學士 須賀喜三郎	全一冊 既
海商法論	法學博士 市村富久	全二冊 既
社會保險論	堀川美哉	全一冊 既
簿記學原論	商學士 兒林百合松	全一冊 既
會計學綱要	商學士 太田哲三	全一冊 既
行政法總論	法學士 島村他三郎	全一冊 既
行政法各論	法學士 島村他三郎	全一冊 既

各冊定價金六拾錢 郵稅金六錢
[illegible]前編出來後編未刊[illegible]送料郵稅ハ當店ニ於テ負擔致シ候

發行所 東京 巖松堂書店
發賣所（振替京城二四五四）京城本町 仁川宮町 巖松堂書店

異彩を發揮せる秋季特別號
生活

遣英日本大使の豪華 新歸朝人
宮中の御寫眞場（寫眞入）…
鶯と杜鵑の飼養…田村謙壽
夾竹桃の別莊 有壁居
從來取扱つた離婚裁判
家賃と地代は値下し得る筈
日常生活新經驗 熱沙丘

特別記事
三井男爵家外史（寫眞入）飛泉郎
藝妓らしい最後（寫眞入）代議士 隨波
當代婦人記者列傳 無冠宰相 布衣人
柳澤騷動の史實（寫眞入）柳澤伯家記
後日ある俳優六人（寫眞入）西野恵之助

贅澤物語…高橋某久
△親から子に傳はる性質上の分担…某秘書役
△宴會の本義と席順…坪谷水哉
△新嘉坡と云ふ港…金子鶴二
△一日三錢の小兒科病院（寫眞入）…
△四十萬の横濱市民…
△肥ね過ぎた體軀を痩せさす法…
△猫を飼はぬ家の暗さ…
△半身像…（某女の告白）
掏摸の種類と被害豫防

本號（特別倍大）に限り 定價金四十錢 郵稅二錢
東京本町 博文館

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後 二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後 二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、一三	四、三七	七、二八

[illegible]を經由するに至りたるを以て[illegible]道局に在りては昨年二月を以て倉庫業を開始せりと雖も小規模にして設備の十分ならざる爲め未だ一般商

山里果組合、釜山倉庫營業者等合同にして未だ開業を見るに至らんか從庫業開始の計畫ありて咸中咸鏡農工銀行の如きは本年六月よりの計畫にて既に認可の指令に接すべく內遣[illegible]と釜山商人の獨占ともいふべかりし狀態は一變するのみならず北鮮明太漁業者の利するところ實に思ひ

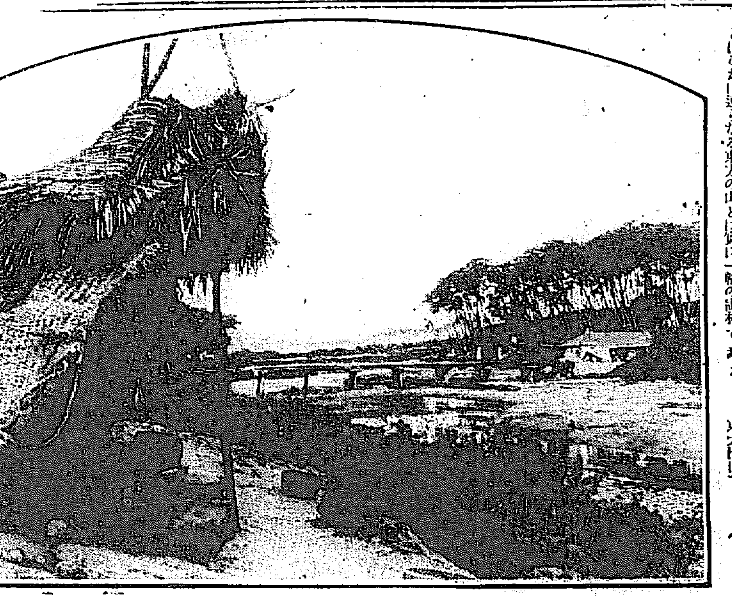
[illegible]成賢（一七）竹洞里[illegible]（一九）衙廳里煙草職工趙成賢（一七）同里金東貫の五名は八月十日夜巡邏里活動寫眞館平安劇場にて活動寫眞見[illegible]出し五名にて毆打したる上中成五所持の現金一圓餘を强奪して逃走したるを此程何れも平壤署の手に捕はる

◎溺死二件　平南道平原郡永柔面[illegible]里四統六戶康承九（六八）は八月二十九日午後一時頃同面蒼江渡船場附近に於て水浴中過つて溺死す

[illegible]圓もあり[illegible]平壤にては一寸思はしからぬより同家に[illegible]銀御隱中時間を偸み京城に高飛し[illegible]町初音館に[illegible]世話する人ありて本町三丁目飲食店[illegible]野吉太方へ女中[illegible]

[illegible]永（四〇）同里[illegible]（三二）の七名は八月十八日午後八時頃より翌午前五時頃迄金[illegible]宅に於て金錢を賭し賭博[illegible]中[illegible]に取押へられ八月二十九日同分隊に於て各罰金二十五圓

◎天氣豫報追報　曇り後晴
[illegible]全羅南北道慶尙南北道濟州[illegible]び南陸



◇初秋郊外十景（四）　何處からともなくピンカラカラカラーときこえて來る鳥の聲が晴れた空に全く秋の氣持ちをみなぎらして居る。足の向くまゝに畑道を行けばいつか身は川沿ひの堤の上に出てしまつた。うれしくと續く丘の上には綠濃き松林、幾すじにも分れた流れ　とこはれかゝつたむしろ家とはるかに連らなる東方の山とは實に一幅の畫材である。——東大門にて——とみ——

不老不死の靈藥（三）
大木を引拔き大石を拳で打割る

世にも不思議の効能を有つて居る靈藥は材料の採取にも製造法に於ても既に甚だ困難であるが更に服用法に就ても樣々八釜敷い法則のある事を心得て居らなければ成らぬ先づ此の靈藥を服用して偉大なる體力と奇妙なる精神作用と不老の効果を得やうとするものは服藥前二百日ばかり一切の邪念を絶たなければならぬ卽ち

世の中に對する多くの慾念

を根本的に腦裡から取去つて苟にも性慾の妄念などを起す事は成らぬ服藥の期限は百五十日ばかりであるが此の間服用者は一切肉食の禁を守らなければ不可ぬ動植物の臭氣あるものを食しては不可ぬ服用者が男なれば女の衣服身體に觸れたり其の香を嗅いだりする事は能きぬ女の場合にも男に對して其の通りである、藥を服用して一週間許りすると元氣甚だしく旺盛となるが此の際極めて嚴格に性慾を思ふ事を戒めなければ駄目である

其間に體力は漸次旺盛となり

遂に日中、天に無數の星燦然と輝くを認める、三十日許り服用すると身體は非常に輕く恰も飛行する如く高さ五丈位の立木や屋根を躍り越す事が能きる愈々百五十日服用すると大木を引拔く事は草を拔くよりも容易である許りでなく如何なる大石でも拳を以て打割る事が能きる愈々百五十日の服用期間を過ぐると今度は服用豫後として又二百日間服用前と同樣の禁戒を守らなければならぬもし此の間一度でも此の禁戒に違反したるものは單に藥の効能が無いばかりでなく

其反動として藥罰覿面にして

服用者は直ちに死亡するか終生不治の不具者に成るかと云ふ危い目に遭はなければならぬそれであるから此の藥を服用するには先づ沓き置き位は認めて置いて取掛らなければならぬそれでも朝鮮人の間には盛んに服藥者が有つて今でも盛んに失敗して居ると云ふ事だ藥借力の外にまだ神借力と云ふのが有るこれは深山幽谷に斷食して籠り百日間每夜午前二時頃同じ井戸の水を呑むのであるが之れも却々容易の業でなく大抵は中途で幽靈や化物に威されて中止するさうである併し神借力も成功すれば其の効力は藥借力と少しも變らぬとの事である（終）

□東宮殿下還啓
勅使並に御使を遣さる

箱根宮下に御避暑中なりし東宮殿下には四日午前十一時三十五分東京驛御著高輪御所に還啓相成りたり右につき天皇　皇后　兩陛下より勅使並に御使を東京驛停車場に差遣はされたり（東京特電）

帆船難破
して乘組員八名行衛不明
四名の生存者七日目に救はる

山口縣高松彌吉所有日本型三本檣帆船澄榮丸（一七〇噸）は八月十二日鮭砂二百噸を積み込み二十三日若松に航行中暴風の爲め濟州島の北西十七浬の個所にて沈沒し乘組員八名行衛不明四名生存者は沈沒後七日目に警備船に救助せられ木浦に到著せり（木浦特電）

◎枕頭に馬賊と猛獸
裝彈の銃を置いて
の危險を防禦しつゝ咸北名代の朝鮮アルプス橫斷

過般咸北吉州明川より咸北の裏面を縱斷し茂山方面の視察を遂げ歸隊せる鏡城憲兵隊[illegible]は語りて曰く

今回の旅行は吉州より載德を經て合水に出で鬱蒼たる大森林の朝鮮アルプスとも云ふ可き高臺を縱斷して茂山に出たのだが四日の間と云ふものは

◇千年の斧鉞をも
加へざる密林等暗くして

物凄き許りなる高原の大森林を朝鮮馬にて踏破するのであつて合水より延岩迄の約十三里の如きは其間に只六軒の人家を數へたのみにて行くに溪谷の淙々たるあり斷崖絶壁の屹立せるあり俯瞰すれば數十丈の幽谷に千古の神秘の漂ふありて海拔七千尺の高臺が雄渾壯大なるは到底良く筆舌の盡す處ではない路傍の各處には廻り二抱もあらうと思はれる

◇巨樹が風雨の慘害
爲つて折れた儘朽ちるに

任せて顧みるものも無い等實に粲放の氣に滿ちて居る倫坪より茂坪の間の如きは殊に森林の濃密なるものあつて溪谷に富んで居る旅行中は暑氣に惱まされたが高原地方は朝夕の氣溫低下して合水では福袍を纏ひ延岩では火鉢を呼び三下面では朝の洗面は水で出來ない程寒冷なものであつた恰度我等が三下面に入つた時對岸の馬賊が三下面派遣所を襲ふと云ふ風說で憲兵は裝彈の銃を枕頭に置いて寢た程であつたが別段の事も無い樣であつた慘めな同情すべき職にある土地調査局員は

◇神武城を根據こ
して白頭山を始め各方面の

深林を區分し測量に從事して居るが能に片腕を咬まれて目下茂山にて治療を受けて居る技手もあるさうで三名の憲兵と五名の補助員は常に各所管地を護衛して事業の進捗と身邊の危險を防禦して居る三下面附近の山は既に一圓紅葉して百花繚爛たるものがあつて恰度春と秋が一時に來た樣であつたが農事洞の如きは昨今最早霜が降つて居る頃かと思ふ

◇營林廠の流筏も
本月限りにて休止し筏夫も

其れ〳〵歸國するさうだが延岩より三下面迄出すのが四十圓ださうで其れより下流へは朝鮮人の筏夫が流出する事となつて居るので彼等筏夫は每年數百圓の金を懷中にして歸國するのが例となつて居ると云ふ事であるが茂山一帶の耕地と云ふのは大低傾斜地であつて山頂に森林があると云ふ狀態であるが營林廠所有區域內に

◇新作する農民には
兩三年の內に立退を命じ

農事洞より白頭山麓迄一望千里の平野に移住せしめる計畫を立てゝ居るが其方面には燕麥の發育等殊に良好であるから大に有望であらうと思ふ（淸津特信）

別府温泉より

▲別府に滯在してゐた土地調査局總務課長の和田一郞さんは、夫人坊ちやん孃ちやん、それから若い綺麗な婢御などと一しよに一團體を作り四五日前に歸られました

▲和田さんは役人生活を十年もしてゐるが、暑休をとり伸び〳〵幾日かを靜養したのは初めてださうです、それも和田さんより先きに別府に遊んでゐた夫人令息令孃中洲あたりの病者が出した爲め見舞ひ旁々來られたのらしいです

▲和田さんは一週間許り滯留の間に可なり四方に探勝力を發揮しました、耶馬溪にも宇佐にも中津にも飛んで行つたが、別府の附近は年の割りに脊の伸び過ぎた長男榮一君を引具し汗ながく〳〵流しつゝ、每日々々馳け廻りました

▲近眼七度の和田さんが近日名所廻りをやつたのだから、一二の滑稽を演ずるは蓋し免れ難い事と思ひ升、果然一日鐵輪から海地獄の方に向ふ途中、溝にゆるがぬ確乎した石の[illegible]りて踏んだからたまらない、石が、直ちに轉じて和田さんは側への小溪流に橫倒れにコロげ込みました

▲恐らく和田さんは前夜精進がよくなかつたのでせう、其の溪流にコロげ込みが一度で濟まず、今一段下迄隙間もなく落下しました、榮一君は喫驚して駈け下りろ、轉げた和田さんは息子の手前、打つた[illegible]腰の痛さも云へず照れた顏を苦笑にまぎらしたさうですが嘸ぞ苦しかつたでせう

▲但し怪我なさは不思議な位、加ふるに大事な〳〵近眼鏡を割らなかつたのは天佑と申して宜しい、其日は直ちに引返したが、同夜及び翌日氏は左肩及び腰部をさすりつゝ幾度か湯場に通つたさうです

▲一日京城から來た知人と旅亭に押上つたが[illegible]の唄ふ別府名所の文句に宿屋や醫院の俗な名があり、然し海水浴や地獄の加へてない事を面白からずとなし、直ちに筆をとつて「女波男波の海水浴」など添削し、更に捻り出た二句の頭字をとつて別府を指摘せる一詩を賦し、自慢の朗吟に一座を惑かしつゝ引上げた事などは餘り詳しく申上げぬ方がよいと思ひます

▲永く居られる夫人や孃さんに歸らう〳〵と急き立てられ、氏は散策趣味の別府を後にしたが、例の興味のある砂湯には嫌々邪魔すやうだからとて肩もながり、ツイ一浴も試ろみなかつたやうです（B生）

◎新權典侍
年俸三千圓下賜

園權典侍は去る六月三十日辭任せるに付其後任詮衡の結果左の如く任命ありたり（東京特電）

任權典侍（女高等官四等）賜二給俸　正六位　竹谷つね子

朝香宮御用取扱　竹谷しげ子

朝香宮御用取扱被仰付

附記　竹谷つね子は從來朝香宮御用取扱として高等官三等の待遇を受け年額手當千二百圓の處今回權典侍となり四等官にて年俸三千圓を賜はる事となれり

◎罪を縫ふ博多帶
放蕩靑年豪遊中捕はる

鳥取縣西伯郡米子町字尾高町生れの北垣直男（二九）の實父甚六は木浦本町一丁目にて骨董商を營業し居れるが直男は放蕩に身を持崩し親の許を脫け出して外一名と共謀し本年五月中京城に流れ込み黃金町四丁目松野某方に居住し居れる內同三丁目飲食店黑谷まつより蒲團一枚羽袍一枚を借受け之れを橫領入質し同月七日本町四丁目の下宿屋戎屋に知人を訪問し其不在中博多帶を掠つ浚ひ遊興したが忘れられず其後全州に赴き居りしが又復京城に舞ひ戾り本町二丁目佐伯旅館に滯在して宿料十七圓餘を踏倒し同宿人より前後二回に金二十圓を窃取して新町萬遊樓にて豪遊中此程本町署の刑事に取押へられ取調べの上檢事局に送られたり

◎極東オリンピック
豫選競技

三日に於ける極東オリンピック豫選大會競技第二日の結果如左（東京特電）

▲一哩競走　鈴木（二高）五分三秒
▲走幅飛　甲斐（慶大）十九呎九
▲砲丸投　伊藤（藤田組）二十九呎一
▲百碼競走　東口（高師）十秒五分三
▲四百四十碼競走　山岡（一高）五十五秒五分の四
▲八百八十碼競走　多久（愛知一中職員）二分十五秒五分の四
▲十哩短縮マラソン競走　加藤（同志社）五十五分十八秒
▲棒高飛　三好（早大）九呎七

◎大阪の虎列拉
六百七十七名

大阪に於ける虎疫は四日午前終に六百七十七名に達せり（大阪特電）

◎三人姉弟溺死

兵庫縣淡路津名郡大町村農倉尾淺吉の孫靜江（一五）駿之亟（一二）隆（一〇）の三姉弟は打揃ふて附近の溜池に溺死せるを發見したり（大阪特電）

◎眼球を潰るさ

金浦郡月串面西岩里の酒幕業車錫鉉（三六）同郡陽村面馬松里酒幕業車杜仙（三八）の兩名は去る二十日午後二時頃前記車錫鉉方前道路に於て同郡陽村面道沙里金泰成（三九）が何か惡口を吐きた

◎湖南線の山崩れ
汽車一時不通

三日大雨の爲め湖南線地境山間に山崩れを生じ四日午前中は汽車不通なりしも午後に至り開通せり又月氷川鐵橋にも破損の箇所あり木浦午後發列車は一時間延著せり（大田特電）

◎檢疫所大修理

仁川署にては內地各港に虎疫發生し勢ひ猖獗を極めつゝあるより萬一を顧慮し本月二日より仁川大月尾島に於ける檢疫所の大修理に著手せり（仁川）

◎漁船の衝突

仁川署管內富川郡德積面鎭里黃榮春（三十）は三十日午前三時頃帆船十五石積に石材を積み船頭として內港に帆走中強風と激流の爲め操縱の自由を失し舊運輸部棧橋の北方海上に繋留中なりし忠淸南道西山郡元北面文鍾錫（三八）の所有漁船に衝突せしが船首に大破損を蒙らしめたるが加害者は損害賠償金が不當なりとて示談折合はず加害者より其筋に訴へ出でたり（仁川）

◎六百圓の橫領

富山縣富山市若木町生れ京城若草町居住の常田調太郞（三八）は旭町一丁目土木請負業阿川組に雇はれ大正三年十月より四年末迄の間に同組の現金保管中前後十回に亘り六百五十餘圓を橫領して遊興費或は米相場に手を出して消費したるものなるが本年二月中本町警察署に於て空米師內鮮人五十四名を檢擧したる際引致され外二名と共に京城地方法院に於て豫審取調べの末免訴となりたるも常田は前記橫領罪に依り公判に附せられたり

◎仁川高女展覽會

仁川公立高等女學校にては五日六日の兩日午前八時より同十二時まで同校講堂に於て生徒の暑中休暇宿題國語數學地理歷史裁縫手藝圖畫等の成績品を陳列して展覽會を開き生徒父兄及び一般の觀覽を希望する由（仁川）

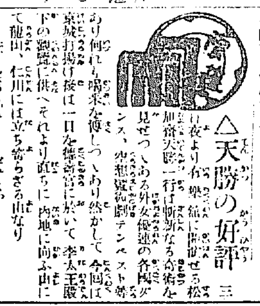
◎庸羊畫會

過般入京せる南畫家生駒庸羊氏の畫會は三日秋雨しきり降る午後三時より南山本願寺の[illegible]仙花こぼるゝ庭に面せる一室に於て開催されたり作品僅に三十餘點に過ぎざりしも放膽なる試みに成功せる作品多かりき殊に淡念佛及び絲瓜、南瓜の三幅は如何にもくつかみたり野田大塊翁其他多數の來會者あり席上庸羊氏の揮毫大塊翁其他の題句などありて盛會を極め午後六時半頃散會せり

席上題句（夕刊所載の外）
百態の醜や大寺に秋の人　靜軒
蜻蛉や尻切れ草履曳ずりて　同

◎依托品を入質す

[illegible]京城若草町居住[illegible]（二八）は[illegible]年四月本町黃金町三丁目高橋某より黑羽二重紋付羽織一枚（二十圓の物）を依賴され之を橫領して入質したる爲め京城地方法院にて[illegible]役四箇月の處分となる



△天勝の好評

三日夜より有樂館に開催せる松旭齋天勝一行は斬新なる奇術を見せつゝある外女優連の各國ダンス、空想喜歌劇テンペスト等あり何れも喝采を博しつゝあり然かして今回は京城打揚げ後は一日を德壽宮に於て李太王殿下の觀覽に供へそれより直ちに內地に向ふ由にて龍山、仁川には立ち寄らざる由なり

△大正館の「戰禍」

大正館にては嚮きに好評を博せるハートの三以上の大名畫にして一回にて完結すべき「戰禍」原名「平和に於ける戰の叫び」を來る六日夜より上場すべく右映畫は米國軍備擴張派の機關活動畫にして同派が七十萬圓の撮影費と米國陸海軍兵二萬五千人在鄕軍人八百人臨時雇入千人を使用し外に馬匹五千餘頭、軍艦、潜水艇、飛行機、飛行船、自働車を限り無く使用せるものにして米國軍國主義の急先鋒ハーソンマキシム陸軍大臣副官ガーリストン氏の外陸海軍中大將數名がフヰルム作成の指揮監督として出演せるものにて該寫眞の全米國に映さるゝや軍備擴張は忽ちにして國民の認むる所となり本年五月下旬海軍擴張費の可決と共に陸軍擴張案に對しウイルソン大統領をして署名せしめたる程にて大成功を收めたるものなり該寫眞は本年四月日活が逸早く之れを輸入し東洋興業權を獲得したるものにて本年九月高輪御殿に於て東宮殿下の御覽を賜ひたるもの

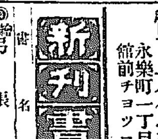
▲聯合義太夫大會　明治町の浪花館は改築中の處此の程落成したるがその改築祝ひの意味にて來る五、六の兩日京城天狗連の聯合義太夫大會を催すべくその初日の語り物は左の如し
△千本櫻すし屋（日東）△酒屋（陸平）△寺子屋（港）△忠六（三木）△又助內（眞龍軒）△太十（廣次）△伊勢音頭十人斬（租太夫）

謹テ御見送ヲ感謝ス
九月五日
井出治

白雲を踏破し富士山頂に
肺病の奇藥を探檢す
肺病全治實驗秘密の公開

白扇倒さまに懸る芙蓉の峰は鎭國の靈山にして秦の徐福が長生不死の仙藥を東海に求めし往時にも孤帆遙か斯山を指させしと聞く

吾徒は今日富岳を中心として悲壯絶大なる事實を報道するの機會を有す卽ち吾徒知邁の紳士安原氏は數年前不審なる發熱盜汗咳嗽などが打續き醫師より肺病と宣告され藥治に手を替へ品を換へしが病氣容易に減退せず喀血さへ見るに至り最早平凡なる療法に絶望せし氏は寧ろ病軀を犧牲として空前奇拔なる療法の實驗に生死を賭し幸ひに昊天涙ありて全治の幸福を得ば之れに依りて世の同病者をも救はんとの一大決心をなし覺悟を[illegible]發見し專門家に質し物の指示を請ひ又奇獸穿山甲が肺病に特効ありと聞き之を手に入れて實驗し又富士山中に生ずる八股車前は肺病の最良藥なりと聞き病の小康を利して富士山に登攀し足に白雲を踏破して之を採收し藥に投じて試驗する等斷腸の辛苦實驗を重ねつゝある中、曙光山河を射るが如き新醫學の光明と質疑の專門醫二人の獻身的實驗の結果と相援助により確信ある特効劑を完成し之を服用するに及んで一日毎に辛苦を減じ約三箇月後には全治して現に體量十八貫目もある壯軀となり、公私の爲め快活に奮鬪されつゝあり、是に於て氏は進んで同病者の救濟に著手せられたるに卓効驚くべく既に遠近數千人の患者を救濟し來れり、顧みれば今日迄に自己實驗苦心發見ながら稍もすれば私利を網せんとしつゝある奸商は熱誠溢るゝ氏の前に果して何の顏色ありや、血ある涙ある安原氏は一日も早く一人も多く救濟せんと吾身の辛き經驗より湧き出づる溫かき同情を以て全治の實相を打明けたる『肺病全治の事實』一冊を發表されたるが半信半疑の初發者は之れに依り獨診斷をして治療の好機會を捉へ得べく又重症者も最後に運命を開拓する唯一の活路なり　世の肺病肋膜氣管支患者は速かに東京市日本橋區吳服町二安原尙親氏へ宛てハガキにて京城日報紹介と記入申込めば無代にて寄送せらる



京日案內

普通　一回前金一行（一行十五字詰）三十錢　番外一回前金一行名一圓　六十錢　五錢増無制限

▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

◎外勤店員三名入用（廿五歲以上）要保證人履歷書携帶本人來店　京城本町一松葉堂書店電一三七八 176

▼朝鮮各道別地圖各一道十錢送四錢　京城本町振武武參ウツボヤ書店 165

◎店員入用年齡十七八歲以上の者確實なる保證人を要す本人來談　龍山漢江通電車終點前龜屋雜貨店 174

外交員募集　日本火災保險會社代理店京城永樂町二丁目六〇德田商會電話二三五番 173

◎地所家屋讓渡　總坪數百廿餘坪建坪十七坪木造平家建別に溫突四場所商業附近櫻井町一の卅四弓場 160

古本　高價買入　京城本町三丁目東京堂書店 163

◎高等外務員並派遣員採用す有月給外手當へ身元確實者來談　京城本町五丁目郵便所北鄰忠愛義會 162

◎見習入用年十五六小學卒業以上身元引受人二名要す履歷書添へ仁川本町白神洋行 171

▼周易觀相…見料隨意…試みに評らる法螺でなし永樂町一ノ九商品陳列舖通板中途均陵庵 172

◎松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州加藤自働車運輸部

番外

▲下宿屋讓る　市內出入に至便に付て有望なる場所歸國の爲め居拔の儘至急讓る御希望の向は御來談被下度候（姓名在社）175

新式病人用輸送車　新著仕候御用命を乞ふ　京城總督府醫院前電話一五八〇番　總督府醫院御用　山口組 96

內科小兒科外科花柳病　吉野町　院主　松岡榮太郞　松岡醫院　入院隨意（吉野町自働電話の上）98

質　大勉強　確實誠意　永樂町一丁目商品陳列館前チヨツコン下る　秦 ハタ 170

新刊書御案內

書名	著者	定價
本弓張月	曲亭馬琴 葛飾北齋	二五〇
學生を主としたる綴方新教授法の原理	五味義武	一三〇
改版最新日本地圖	富山房編	一六〇
新地療法山と海	竹中繁次郞	七〇
圍碁實戰法	[illegible]	六〇
實地盛花瓶華秘法	[illegible]	一〇〇
戰後の大英國の危機	[illegible]	七五
萬國の商賣百種	[illegible]	六五
坐禪と指南	[illegible]	八〇
催眠術	[illegible]	八〇
各國參照工場法要義	[illegible]	六〇
受驗必攜朝鮮行政法規大意	[illegible]	四〇
朝鮮語會話譯文速成	[illegible]	四〇
朝鮮の衣食住	[illegible]	二五
實際怪談海底地獄	江見水蔭	八〇
人で西洋カルタ	[illegible]	三五
子規句集	[illegible]	九〇
新式園藝寶典	鈴木五段	七〇
園藝万先布石攻合法	中川[illegible]	三〇

京城本町　電話一八〇六　振替京城二五三　大阪屋號書店

古錢　いろは別古錢價格表定價廿錢送料二錢　錢圖六百餘種摺入　振替阪一五四〇八　發行所　大阪松屋町博物北　家村書店

女鳩

渡邊默禪

（九五） 警察へ

住江は默つてお孝を睨めつけた。『ちよいと住江さん』。お孝は急に澄ました體のこなしをして『貴女は私し共よりはお雜煮の數を餘計に召上つてゐらつしやるでせう。わゝさ、お年は十七も十八も上でゐらつしやるでせう。それに準じてお智慧も上なら腕も上、何も彼もようくお出來なさる方なんでせう。ですから長いこと此のお屋敷にお勤めなさることが能きたんでせう。御前のお氣に入り鳩さまの腰巾著、奥向のお取締、大した御威勢でゐらつしやいますわね。所がです、お年上でそれほど智慧のある貴女が——御前や鳩さまに信用され切つてる貴女が——私し共の上に立つて取締をなさる貴女が、泥棒！泥棒のお手本をお惜し下すつちや困るぢやありませんか』。『泥棒といふところを一際鋭高に言つた。『貴女は忠義者ですわね、奉公人の模範ともなるべき方ですわね。その忠義者がさ、主人の物を斷りもなく默つて頂戴していゝんですか。その模範ともなるべき方がさ、盜みをすることを目下の者に敎ゑても差支がないんですか。ちよいと住江さん、失禮ですが伺ゐたいんですがね』。

膝に肱を張つて四角になつての質問。こいつ婦人の參政權といふものが實現されて女が議會に飛出すやうになつたら、敵の揚足取には持つて來いの陣笠である。

『……』。住江は聾のやう。『お前さんには隨分泣かされたわ。鳩さまを笠に著て、大きな面をしてさ。飛行機の上から見おろすやうにお高く止つて、私どもなんかは地上を這つてる蟻のやうに思つて、噯一つしたことにも直と怖い目で睨みつけちやあ、聞きたくもないお叱言を聞かせてさ。責め放題に責められたことは、誰だつて忘れやしないよ。濱個にお前さんに覚つちやあ、此處にゐる竹さんだつて、お君さんだつて、お菊さんだつて、お文ちやんだつて、片の一時ものんびりと息を吐いたことは有りやあしませんよ。お前さんの體には皆なの思が蛇の卷きついたやうに取著いてゐるんだわ。實際、昔ならとうに祈り殺されたのよ、お前さんは……ねえ、皆さん、爾うでしやう。お互ひ樣にこんな泥棒と知つたなら、あんなに橫柄な面をさせて、威張らせとくんぢやなかつたつけもの、口惜しいことをしたわねえ』。

これほどに辱められても、住江は何とも口應へをしなかつた。

『ちよいと、どうする心算なのさ、お前さんは……いくら白を切つたつて、慥う證據を列べられちやあ駄目よ。面目なかつたら舌を一思ひに喉でもお突きになつては如何』。

『さア、何とか返辭をおしなねえ。よう、よう。何故默つてゐるのさ』。

膝に手をかけてやけにぐいぐいと小突いたが、住江はほとんど彫像のやうだつた。

『血の氣はないよ、此人は』。お孝は呆れて手を放した。そして秀子の方に向直つて『秀さま、駄目ですよ。此の通り不貞腐れてるんでございますもの。仕方がございませんから、警察にお届けなすつたら如何でございます。その爲の法律といふものが出來てゐるんですから』。

『爾うね』。秀子は頷いた。『氣の毒だけれども、手續をするより外に途がないわ。お孝、お前電話をかけてね、刑事係に來て貰うやうに頼う言つておくれ』。

『はい、畏まりました』。

勃然と立つた。（薫破や大事—）

京城本町一丁目
杉本耳鼻咽喉科醫院
電話一三〇番
醫學士 杉本砂一

內科 小兒科
外科 婦人科
產科 各科分擔
京城大和町一丁目 總監部通（大倉組前）
今村醫院
電話一八三一
診察午前九時より午後九時まで

新刊紹介

▲日本評論（九月號） 歐洲の戰局一變せんとす『平野英一郎』新聞言論の頽廢及び藝術と實社會との交叉點『忠実生』トライチュケ論『齋藤茂』青年期の性欲問題『平福作五郎』等の外同人評論欄の生活、婦人、社界、思潮、文藝、新聞其他の評論欄依例の利筆（二十一錢東京市神田區駿河臺鈴木町一二元社）

▲趣味の世界 建國民の趣味『長野由之』日本趣味之粹『佐々醒雪』三絃の妙味『今井慶松』住宅の建築と趣味『三浦之秀』浮歌舞伎の情調『瀧本甘子』源氏の女紫の上『采菊女莫雄』と藍緩の趣味其の他料理に詩歌に服裝に評論に各方面の趣味津々（二十二錢東京市芝區白金今里町一五八共社）

▲大陸婦人界（九月號） 各種の婦人問題を提へ來つて穩健眞摯なる解決を下し又能く時代思潮と融合せるを多さすべし本號には李王世子殿下の御婚約を壽ぎて『牧山耕藏』婚姑和合の秘訣『中野武營』婦人修養の根本義『樋地みい子』若き婦人の注意すべき問題『關住正藏』母親讀むべからず『京野百合子』歷史上から見た男女問題『高島米峰』夫婦別居問題『工藤忠輔』早婚か晩婚か『工藤武城』學校と雖も女子の天性を曲ぐべからず『太田秀穗』等は既婚未婚を問はず婦人の一讀すべき好文字にして其他小說文苑依例賑々し（二十錢京城太平町二共社）

▲新日本（九月號） 言論欄の重役で中心勢力の移動を論ず『大隈重信』日露協約と國民外交『大山郁夫』日英兩國の政情を論ず『田川大吉郎』人物評論欄の暗中飛躍の人々『細井肇』社會欄の文明と犯罪貧乏病氣『牧野英一』獄の腹づゝみ『中村進午』諸國研究欄の日露貿易の將來『岩城讀太郎』婦人の熱望する日本商品『シユミツト』露國文學の社會的意義『郁夫』等の外世界欄は依例本誌の獨特記事を收め雜纂文苑又共に見るべし（三十錢東京市神田區表神保町富山房）

▲人文（九月號） 日蓮上人の身延隱棲『姉崎正治』色彩過の菅原敎遊 小說の勢力『平柳都太郎』秋立ちて『芥川』明治文學史上の標牛『坂岡生』等依例本誌獨得の好文字にして論文課題を發表せり（十四錢東京市小石川區白山御殿町一一七郷半會事務所）

▲東洋時報（八月號） 南北亜米利加視察談『內田嘉吉』南洋の將來『新渡戸稲造』滿洲視察談『篠原俊丸』東部內蒙古視察旅行談『佐々木茂枝』支那に於ける列國の鐵道競爭『吉田虎雄』南洋とマラリヤ問題『高木友枝』等必讀好文字（五十錢東京市麴町區內山下町一の一東洋協會）

●東京三金靴店の特賣 今回東京芝區愛宕下町三金靴店にては戰亂の影響にて各靴店の値上實行にも不拘獨同店は豐富なる材料の持合せと薄利多賣主義にて値上げせず爲に各地より多數の注文を受け日夜多忙を極めつゝあり因に希望者はハガキにて申込めば革見本附目録を進呈する由

●藥劑師たらんとする者の一大福音 藥劑師養成唯一の機關たる東京神田表猿樂町東京藥學會發行の藥學講義錄は東京藥學校講師及び藥劑師試驗委員等藥學士專門大家十數氏が分擔執筆せる講義錄で既に會員には文部省藥劑師試驗に合格者を出し斯界の好評を博しつゝあるが講義錄も愈々完結せるを以て大發展と共に新學期を開講し新會員募集中なれば此際入會者には種々特典ある由藥劑師志望者は至急同會へ見本付會則を申込まれよ

讀者の領分

▲京城に近き某驛の係は依怙贔負で困る運送店の手を經ざる物は三四時間位は平氣で待せる裏面に何か曰くが有りさうである少しく公衆の爲め自省せよ（頑骨殘忍性）

▲『四錢の湯錢が高いとは何を標準にして云ふかと』の反問を發する者が京城にゐるとはナサケない一喝して置けばそれで足りるのであるが一言敎へて遣はす京城の生活程度が何よりの標準又朝鮮の地方に旅行して見ろに二錢五厘の處高くて三錢の處はあるが四錢の處は無い樣なや京城の四錢の湯錢の不廉なる事は今更問題ではない（値下贊成生）

▲今度祖大夫の歡迎淨瑠璃會があるさうですが祖大夫の油屋や赤垣はイカサマ淨瑠璃で聞かれませぬからもつと眞面目な時代物かつや物を遣るやうに御願ひ申します（鞍馬天狗）

▲黄海道邊に石油鑛發見とかして內地の資本家を招き居りたる由なるも事の相違と凡ての事情と又新安州日下の狀況とより打算せられ大資本家も是れにては到底二の足處か三の足迄踏んで居る（素破生）

大阪期米（四日）

	當限	中限	先限
寄付	一四、〇八	一四、五五	一四、八三
高値	一四、〇九	一四、六〇	一五、〇〇
安値	一四、〇二	[illegible]	[illegible]

移りにて當地期米不申十三圓二十三錢より二錢と辷り二三錢を採み合たるが引際十九錢と押し先限十二圓九十三錢と五十錢安に寄付たるが押目は又買物多く値て不渉に...れ◎△今其他より能く買向ひたるも更に八十七錢と崩れ九錢と返して脱會を告げたり市況は賞り逃れる市場の人氣は大阪安を受けて賣物再びた に向つて買向ふたる...

▲㋮の大商内 今後北同店より...

▲現物界 [illegible]

七十度
澤の鶴
清涼ノ九月!!!
是カラ澤ノ鶴ノ天下デ御座イマス!
御家庭ノ御晩酌ニハ
是非ナクテハナラヌ
家庭必備ノ良酒
※澤ノ鶴
御愛用ヲ祈リマス
※澤の鶴、日光、菊印、米壽
特約店
京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番

ぢの薬 痔疾に病める人に
◎いぼぢ ◎はしり痔 ◎裂痔 ◎脫肛痔 ◎痔出血 ◎痔瘻
ぢ病にて永らくつらい苦しい思ひをなされ種々の御治療や御藥を服藥されて効顯なき御方は藥物治療の最後の御試しにハガキにて御照會あれば實地研究の上最もヨクキク妙藥の自宅療法書を無代で差上げます
東京府下大森新井宿字根岸中江藥房

てんかん
種々の手當も効なく困り居る方は一日も早く此ヒキツケの良藥を自宅で服用して下さい
三錢送れば永年の難病も全治する最新の良藥を人々に知らす
自發新法の詳細を報す
名古屋市中區南小川町東側 救生館

院長 醫學博士 緒方正清
大阪 緒方婦人科病院
今橋
次長 醫學士 諸方祐將
ドクトル 箕浦三光
醫學士 高野源男
醫學士 曾根源作
電話本局 一一九八六番 一九八五番 一九八四番
内務省指定 緒方助產婦敎育所
本科毎年十月入學 別科隨時入學
產婆生徒

朝夕の冷氣に ねびえ
御用心あれ
小兒解熱新藥 コドモのねびえには オイン に限る
藥價 十錢・二十錢・三十錢
大人のねびえ又はかぜねつには……
蛇印アンチピリン丸
スグ服用あれ確に効あり
價十錢、廿五錢、五十錢・全國各藥店に有り
本舖 大阪心齋橋 東京箔屋町 丹平商會藥房

胃病良藥 太田胃散
◎飲過ぎ食過ぎに妙なり
藥價十錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舖 東京吳服町 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
內科 小兒科 呼吸器病專門 山田萬作
花柳病科 胃腸病
眼科（入院隨時） 尾形周太郎

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他 油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅薬町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 八四一番 四五四番 九四九番
振替京城五七番

眼科 內科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
入院隨意
本田醫院
院長 本田建義

韓書房
新版報告
常識養成 朝鮮碁道大觀 森田幸次郎著 定價一圓二十錢 送料十八錢
朝鮮總督府編 朝鮮林野分布圖 定價三圓 送料十二錢
朝鮮總督府 普通文官試驗問題及解答 見習雇員 定價六十錢 送料六錢
敎育學術臨時增刊 修身敎育法製經濟綱要 定價一圓廿錢 送料十二錢
原已友著 改訂 考試提要 定價四十五錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話一五四一番 振替口座一一五番

最高滋養
フェロール
本劑は鐵ご燐酸ご佳快美味なる數種の高貴營養劑ごより成り在來の「フェラトーゼ」代用として益々好評
味は葡萄酒以上にして些の酒精分なく老幼男女の別無く一家の健康を保障し病者には最新の營養料たり
▲醫家適應症▼
貧血、盛弱、精力減退 老衰、產後、神經衰弱 病後、肺病、消化不良 凡て營養分必要の諸症
●各薬店ニアリ賣捌ナキ地方ハ本舖ヘ送金し注文あれ小包便送附す
定價 大瓶 廿日分 壹圓七拾錢 中瓶 十日分 壹圓也 試用 二日分 貳拾錢也
本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛 振替口座大阪九一九番

消化と毒けし
仁丹
わるい やまひ 惡疫流行
今のむ仁丹 値うち千両
金言 黃金は道德が光輝を失ひたる時に輝く（ヤング）

梅毒 かんそ、よこね 睾丸病、肛門病 皮膚病、婦人病 神經衰弱
りん病
○六〇六注射包皮其他手術毎日 ○診療無料○入院隨意
京城南大門通農工銀行裏
專門醫 司生堂

質
京城黃金町二丁目 永樂町（停留所北入）
堀佐營業所（電話六三九番）

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 立神丸 月日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 月日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十四日午後十時出帆
○天眞丸 日廿一日廿六日
本船取扱店 大池回漕部 釜山港本町

共同汽船仁川出帆

○阿波、大連行 ○芝罘、營口、安東縣行 九月二日入港 九月三日後三時出帆
大阪商船命令航路 第一共同丸
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候 大連行は青島行定期船にて直航船と同樣運賃にて通し輸送取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行（元山出帆） 月日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第一阪鶴丸 月日前八時出
第三共同丸 元山出帆 月日
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目（電話二〇八番） 山下回漕部
元山代理店 寄日町（電話二四七番） 田口回漕部
京城取次店 南大門（電話二六八・二〇七） 河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外國航路を除く外は前後の連絡仕候 時は五分前以て通知乗船の候
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 九月八日
○須磨丸 九月五日 後五時出
××安東丸 九月十四日
××大智丸
○×鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 九月十日 正午出
淸州丸
×○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 九月十四日 後二時出
○×信濃川丸 九月一日
×信濃川丸
○大智丸 木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 九月十二日 後二時出
○×鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 後二時出
○南浦、關門、神戶、大阪行 大智丸 八月三十日 正午出
○大連直行 臨州丸 九月六日 正午出帆
○×群山、釜山、橫濱行 臨州丸 九月十二日 後二時出
▲○淸津、浦潮行（元山出帆） 城津、西湖津二寄港浦潮不寄港 印八城丸 九月
▲安平丸 九月十六日
○宮島丸 九月十日
○城津丸 上海、芝罘、打狗行（大連出帆） 九月十二日 後四時出
湖北丸 九月十三日 前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡乗船券は本船の一等二等連絡切符發賣仕候 ◎印は連絡ノ船客ハ一時間前迄ニ乗船ノ事 ×印は一等
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番・二〇番
京城切符發賣所 內國通運會社前支店 電話七〇八番
●中國四國沿岸各港行船客に對し一時間前切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三番
京城南大門驛前 松原運送店（電話長一七〇番）
鐵道貨物及び荷客連絡取扱並に外國船への郵便に付き及ぶ
○全羅丸 九月九日
○京畿丸 九月十一日
○黃海丸 九月十三日
○咸鏡丸 九月廿三日 門司より釜山各港寄港地航路 釜山發
○穩城丸 九月十日
○昌平丸 九月八日
○鏡城丸 九月十四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠淸丸 九月十五日
○平壤丸 九月八日 城津淸津輸城行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
○盛德丸 甘浦、九龍里、浦項各寄港鬱陵島行 九月八日 釜山發
○江陵丸 毎日 浦項發
○寶陽丸 長生浦方魚津寄港 釜山發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 九月十二日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行（三日目） ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行 三日目每ニ麗水より釜山行に接続 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行 九月十三日 木浦發
○慶興丸 市多島海列島行 九月十一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行 九月八日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由鐵洞又は白翎島行 九月十二日 仁川發
○江原丸 青島、大連、芝罘行 九月十五日 仁川發
○麗水丸 九月十七日 ○晋州丸 各港經由木浦行 九月十日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
君か代丸 九月七日後四時出帆
大有丸 九月十六日後四時出帆
神代丸 九月十四日後四時出帆
秀吉丸 九月十一日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 九月七日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

◎旅行者溺死 去る十四日平...